

令和6年度
堺市市民意識調査
報告書

堺 市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果.....	2
	あなたご自身のことについて.....	2
A	堺市について.....	9
B	安全・安心について（防災・防犯・子育て・健康・介護等）.....	12
C	都市魅力について（文化・観光・産業・環境等）.....	36
D	転入、転出について.....	68
III	調査票.....	74

I 調査の概要

1 調査の目的

市民のみなさまの日常生活における意識や行動に関するお考えをお聞かせいただき、今後の市政運営に活かすことを目的とします。

2 調査対象

無作為抽出した堺市在住の18歳以上の市民5,000人

3 調査期間

令和7年1月14日から令和7年1月28日

4 調査方法

郵送またはインターネットによる配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
5,000通	2,406通 (うちWEB回答554通)	48.1%

6 調査結果の表示方法

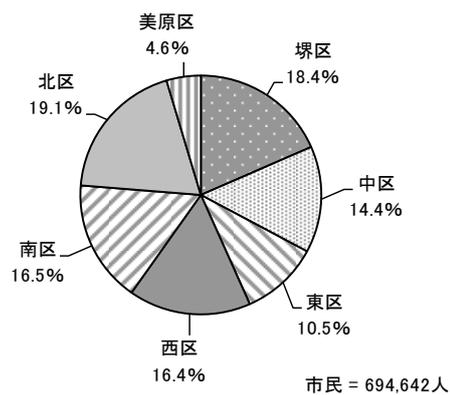
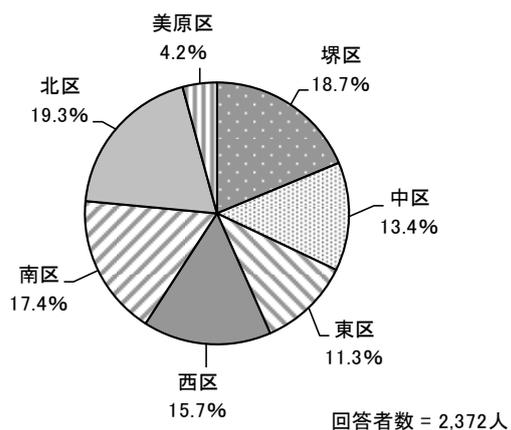
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、全体より10ポイント以上高いものを■、全体より5ポイント以上高いものを■で網かけをしています。ただし、属性別の回答者数が30未満の場合は網かけをしていません。
- ・表中の「-」については、0.0%を意味しています。

II 調査結果

あなたご自身のことについて

問1 お住まいの区（ひとつだけに○）

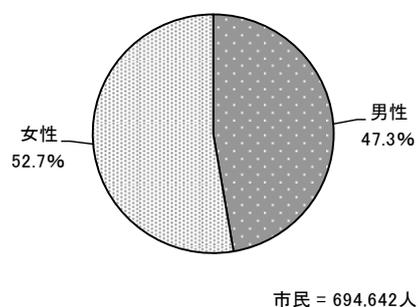
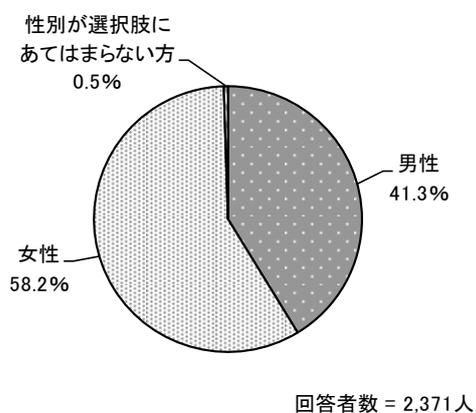
回答者の住んでいる区については、「北区」の割合が19.3%と最も高く、次いで「堺区」の割合が18.7%、「南区」の割合が17.4%となっています。



【参考】令和6年12月末時点の18歳以上
住民基本台帳人口
(日本人、外国人住民ともに含む)

問2 性別（ひとつだけに○）

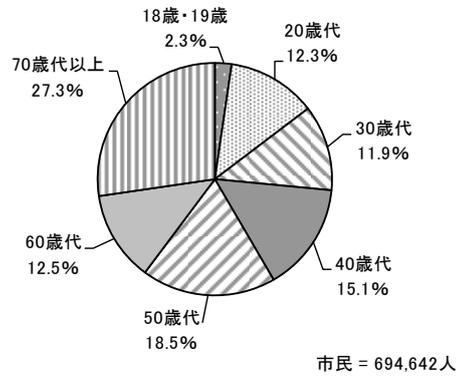
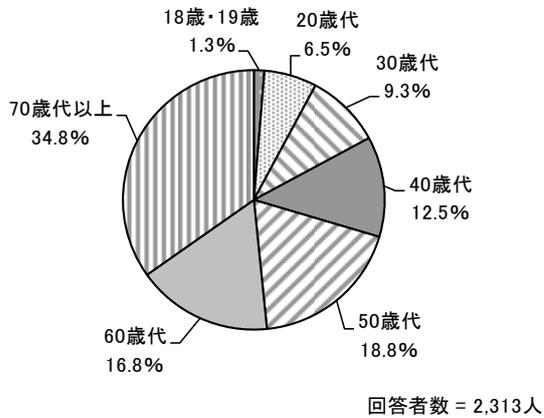
回答者の性別については、「女性」の割合が58.2%、「男性」の割合が41.3%となっています。



【参考】令和6年12月末時点の18歳以上
住民基本台帳人口
(日本人、外国人住民ともに含む)

問3 年齢（数字をご記入ください）

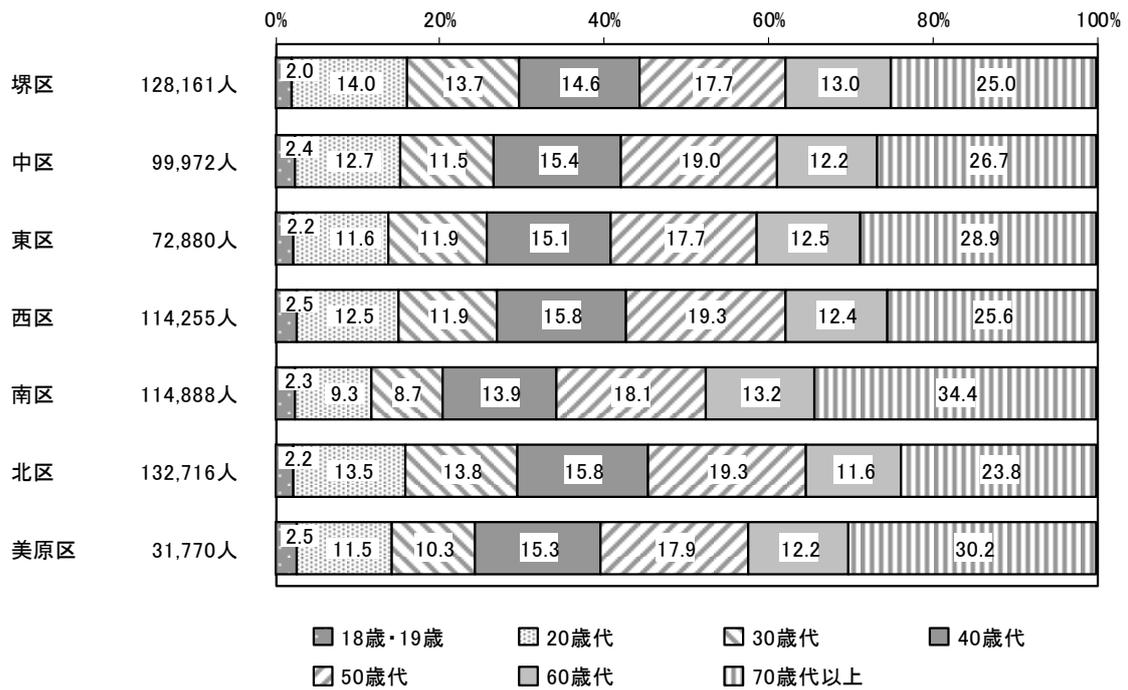
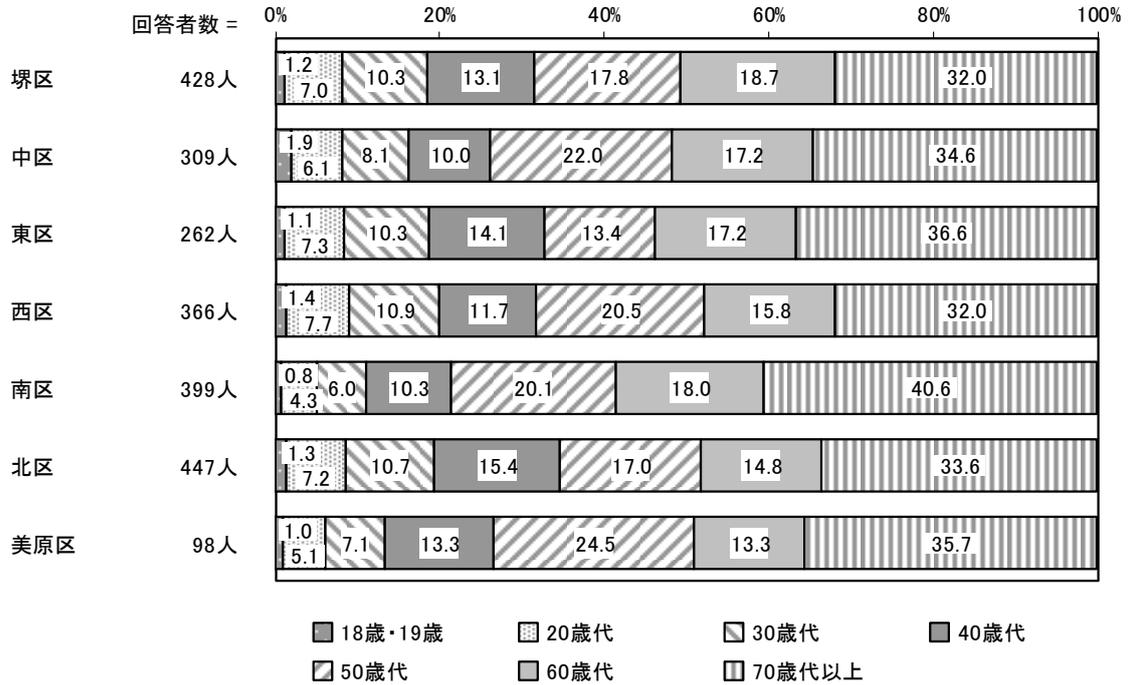
回答者の年齢については、「70歳代以上」の割合が34.8%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が18.8%、「60歳代」の割合が16.8%となっています。



【参考】令和6年12月末時点の18歳以上
住民基本台帳人口
(日本人、外国人住民ともに含む)

【居住区別】

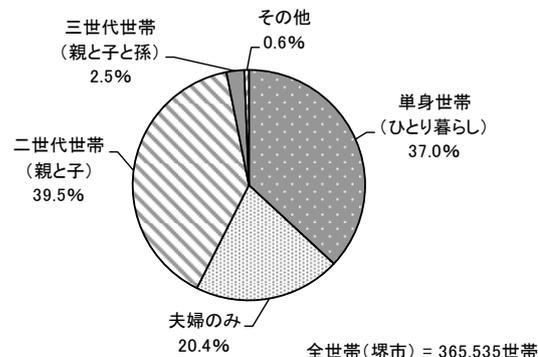
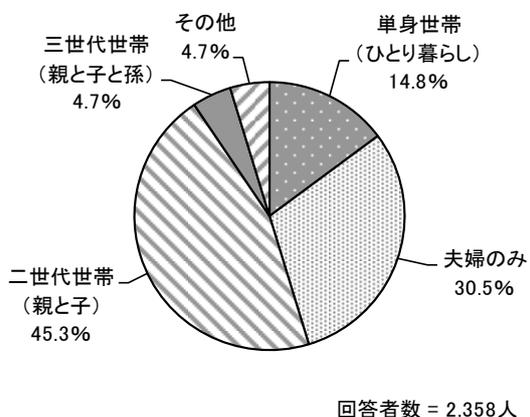
居住区別で見ると、南区で「70歳代以上」の割合が約4割、また、東区、美原区でも3割半ばと高くなっています。一方、西区、北区では「30歳代」以下の割合が高くなっています。



【参考】令和6年12月末時点の18歳以上
住民基本台帳人口（日本人、外国人住民ともに含む）

問4 同居している世帯の構成（ひとつだけに○）

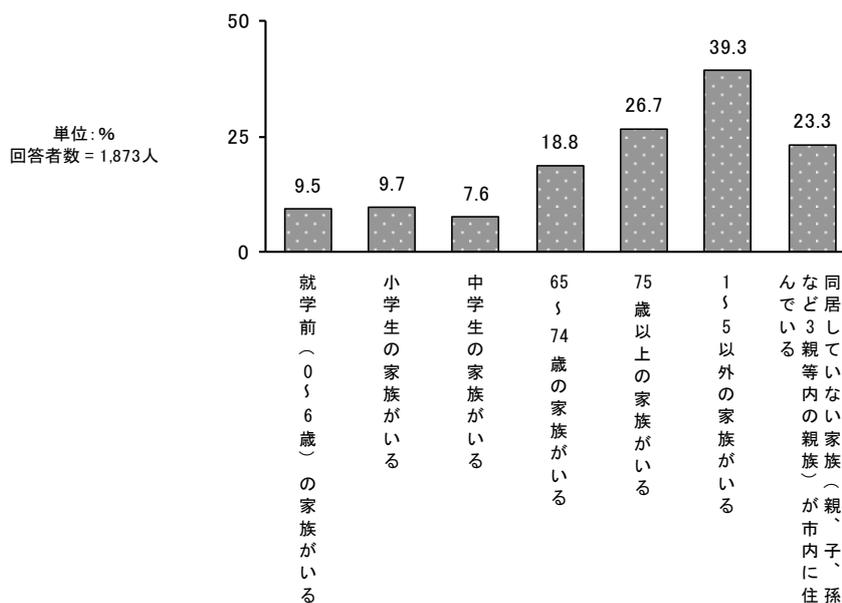
回答者の同居している世帯構成については、「二世世代世帯（親と子）」の割合が45.3%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が30.5%、「単身世帯（ひとり暮らし）」の割合が14.8%となっています。



【参考】令和2年国勢調査
人口等基本集計（総務省統計局）

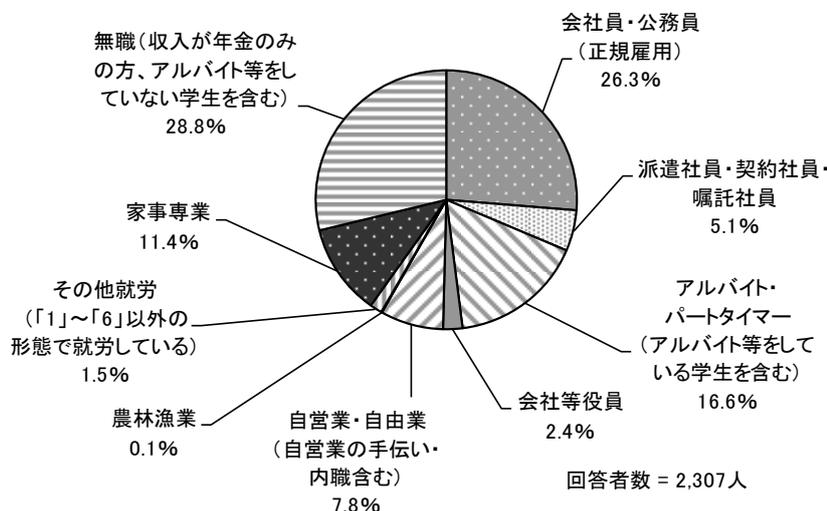
問5 同居家族等（あてはまるものすべてに○）

回答者の同居家族等については、「1～5以外の家族がいる」の割合が39.3%と最も高く、次いで「75歳以上の家族がいる」の割合が26.7%、「同居していない家族（親、子、孫など3親等内の親族）が市内に住んでいる」の割合が23.3%、「65～74歳の家族がいる」の割合が18.8%となっています。



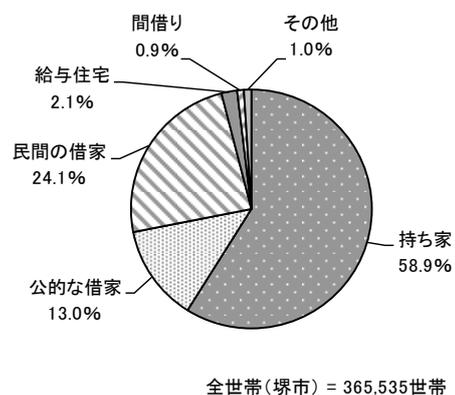
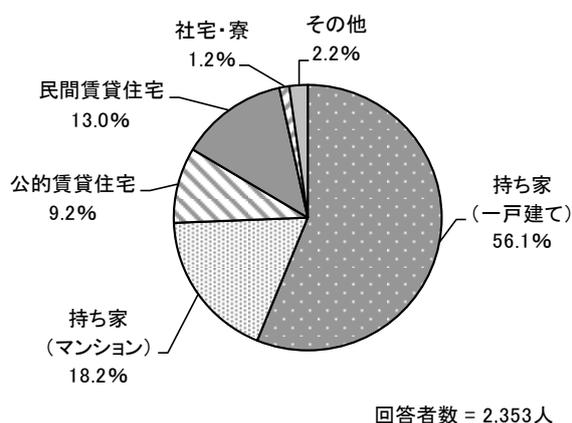
問6 職業（ひとつだけに○）

回答者の職業については、「無職（収入が年金のみの方、アルバイト等をしていない学生を含む）」の割合が28.8%と最も高く、次いで「会社員・公務員（正規雇用）」の割合が26.3%、「アルバイト・パートタイマー（アルバイト等をしている学生を含む）」の割合が16.6%となっています。



問7 お住まい（ひとつだけに○）

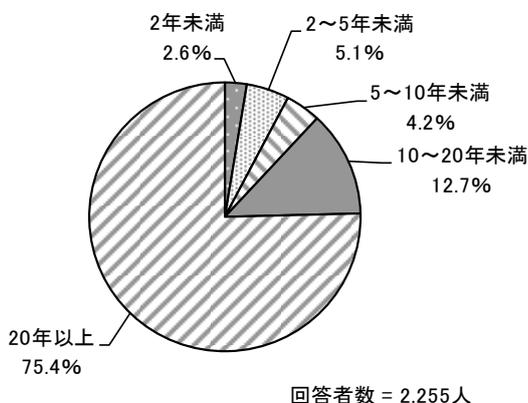
回答者の住んでいる住宅については、「持ち家（一戸建て）」の割合が56.1%と最も高く、次いで「持ち家（マンション）」の割合が18.2%、「民間賃貸住宅」の割合が13.0%となっています。



【参考】令和2年国勢調査
人口等基本集計（総務省統計局）

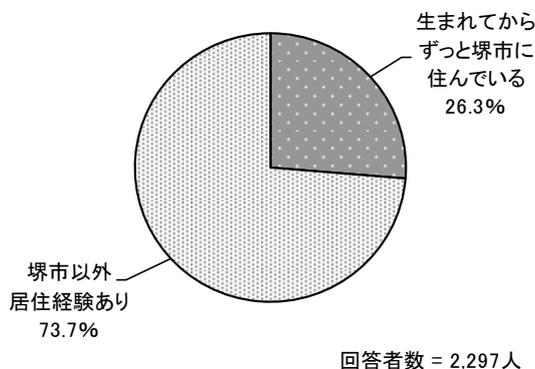
問8 堺市に何年住んでいますか。(数字をご記入ください)

回答者の堺市の居住年数については、「20年以上」の割合が75.4%と最も高く、次いで「10～20年未満」の割合が12.7%となっています。

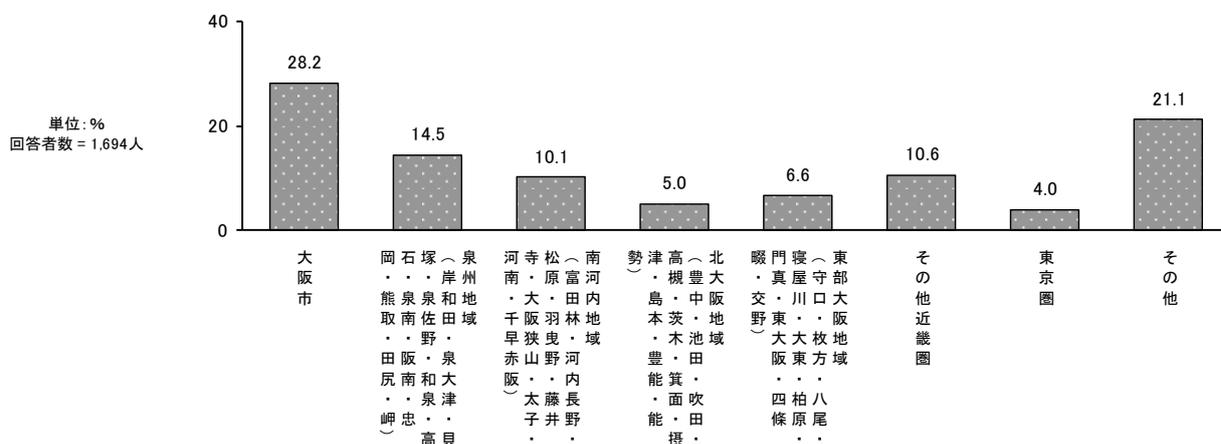


問9 堺市に住む前は、どちらに住んでいましたか。(ひとつだけに○)

回答者の堺市に住む前の居住地については、「堺市以外居住経験あり」の割合が73.7%、「生まれてからずっと堺市に住んでいる」の割合が26.3%となっています。堺市以外に居住していた地域については、「大阪市」の割合が28.2%で最も高くなっています。

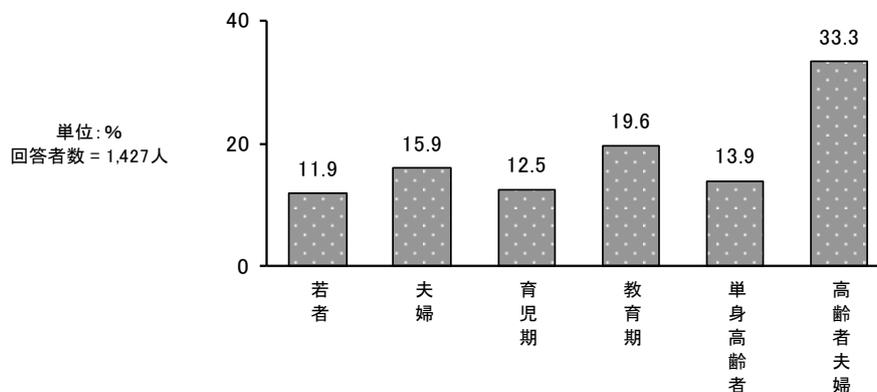


【堺市以外に居住していた地域】



ライフサイクル

ライフサイクルについては、「高齢者夫婦」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「教育期」の割合が 19.6%、「夫婦」の割合が 15.9%となっています。



ライフサイクルの区分と区分の設定条件

区分	区分の設定条件
若者	18～29歳で、夫婦のみの世帯以外の世帯の回答者
夫婦	18～64歳で、夫婦のみの世帯の回答者
育児期	小学校入学前の子どもがいる世帯の回答者
教育期	小・中学生の子どもがいる世帯の回答者
単身高齢者	65歳以上の単身世帯の回答者
高齢者夫婦	65歳以上の夫婦のみの世帯の回答者

A 堺市について

問1 これからも堺市に住み続けたいですか。(ひとつだけに○)

これからも堺市に住み続けたいかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が84.1%となっています。

令和5年度調査と比べると、「そう思う」の割合が3.6ポイント減少しています。

性別×年代でみると、“そう思う”の割合は、男女とも70歳代以上で9割弱と高くなっています。男性は20歳代を除いて、女性は18歳・19歳と50～60歳代を除いて8割を超えています。

居住区別でみると、“そう思う”の割合は、中区と北区で85%台と高めで、西区と美原区で82%台と低めになっています。



問2 堺市は魅力や愛着を感じる都市だと思いますか。(ひとつだけに○)

堺市は魅力や愛着を感じる都市だと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が71.6%となっています。

令和5年度調査と比べると、“そう思う”の割合が3.3ポイント減少しています。

性別×年代でみると、男性50歳代と女性20歳代以上で、“そう思う”の割合が高くなっています。一方、男性60歳代では、「あまりそう思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”が高くなっています。

居住区別でみると、堺区と北区で“そう思う”の割合が73.8%と最も高くなっています。一方、美原区では、“そう思う”の割合は68.0%と低くなっています。



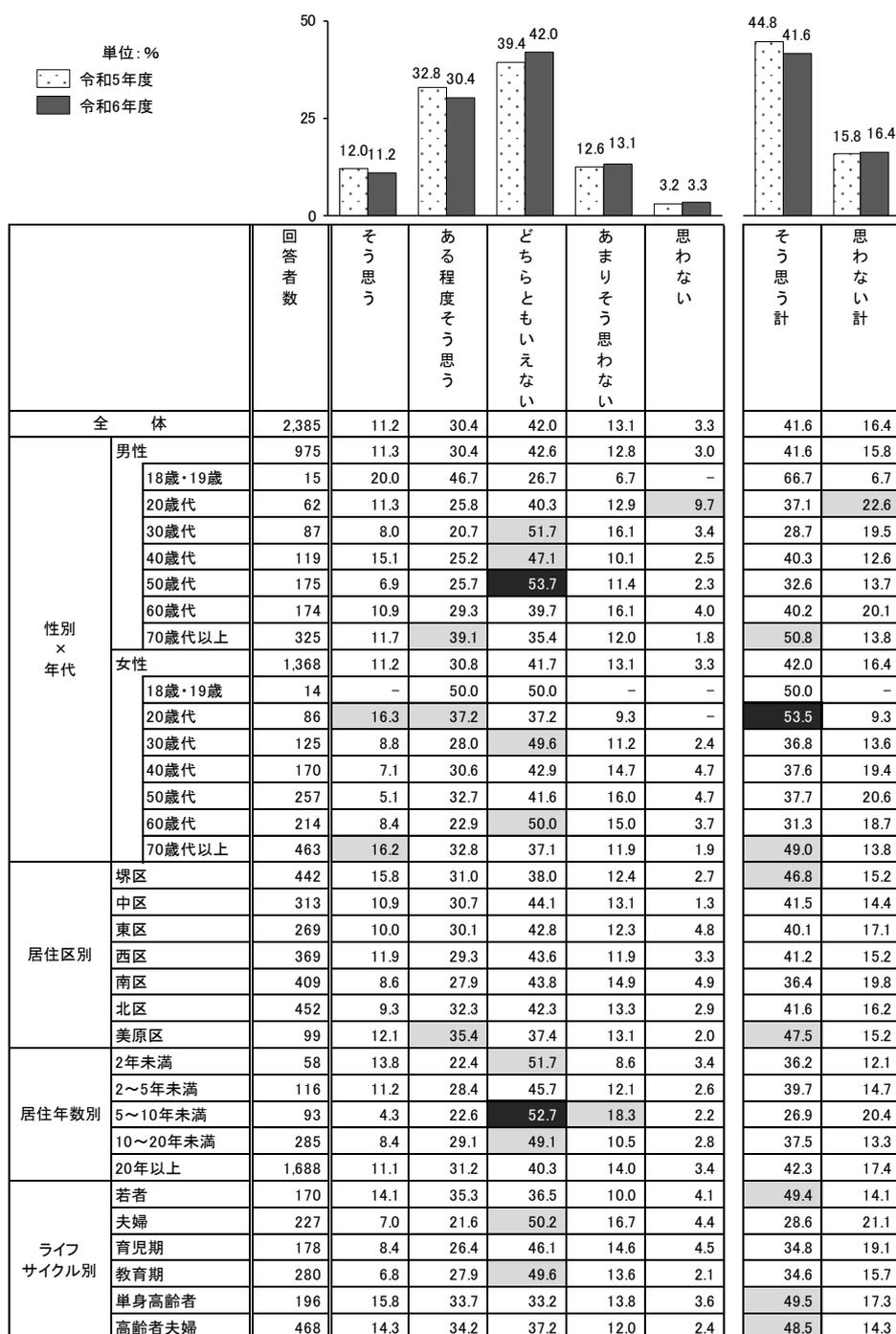
問3 堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境*が整っている都市だと思いますか。※多様性を認め合う、差別のない平等な社会のこと（ひとつだけに○）

堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っている都市だと思うかについては「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が41.6%となっています。

令和5年度調査と比べると、“そう思う”の割合は3.2ポイント減少しています。

性別×年代でみると、男性の70歳代以上と女性の20歳代で“そう思う”の割合が5割以上と高くなっています。一方、男性の30歳代は28.7%と低くなっています。

居住区別でみると、堺区と美原区で“そう思う”の割合が4割台後半と高くなっています。



B 安全・安心について（防災・防犯・子育て・健康・介護等）

問1 堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせる都市だと思いますか。
（ひとつだけに○）

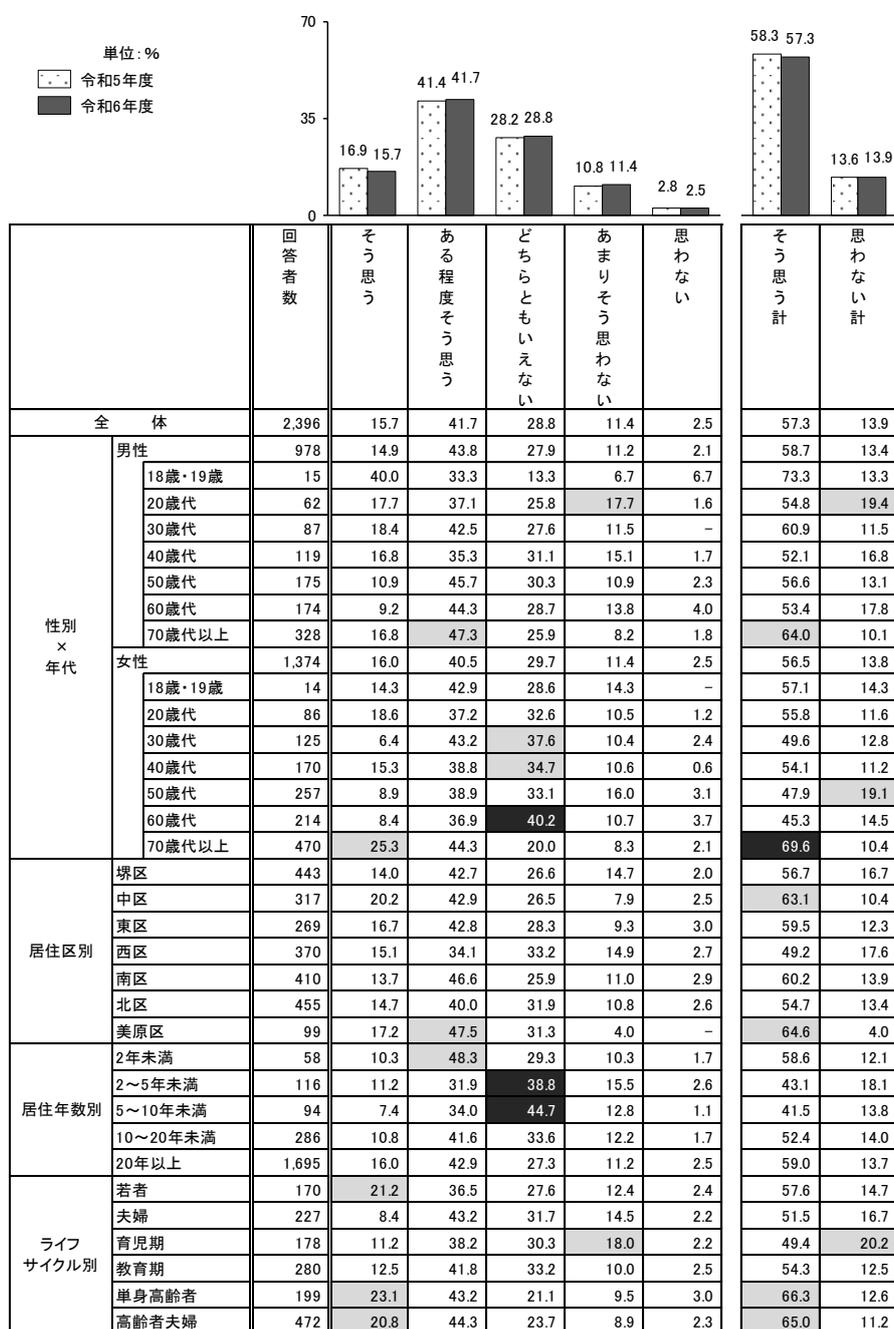
堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせる都市だと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が57.3%となっています。

令和5年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、男性30歳代と男女70歳代以上で、“そう思う”の割合が6割台と高くなっています。

居住区別でみると、美原区で“そう思う”の割合が64.6%と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、単身高齢者で“そう思う”の割合が66.3%と高くなっている一方、育児期では49.4%と低くなっています。



問2 地震等の災害発生に備え、ご家庭で1週間程度の飲料水（お茶、ジュースなどを含む）を備蓄していますか。（ひとつだけに○）

※必要な備蓄量の目安：3リットル×7日分（1週間分）×世帯人数

地震等の災害発生に備え、ご家庭で1週間程度の飲料水を備蓄しているかについては、「備蓄しているが、1週間分はない」の割合が59.4%と最も高く、次いで「備蓄していない」の割合が22.6%となっています。

性別×年代で見ると、女性の50～60歳代で「備蓄しているが、1週間分はない」の割合が7割前後と高くなっています。一方、男性の60歳代と女性の20歳代で「備蓄していない」の割合が3割以上と高くなっています。

居住年数別で見ると、5～10年未満の層で「備蓄しているが、1週間分はない」の割合が70.5%と高くなっています。



問3 以下は、地震等の災害対策として、指定避難所である市内全ての小学校に設置している設備です。これらの設備の中で知っているものをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

地震等の災害対策として、指定避難所である市内全ての小学校に設置している設備の中で知っているものについては、「マンホールトイレ」の割合が最も高く 63.6%となっています。

性別×年代で見ると、「マンホールトイレ」の割合は、男女とも年代が上がるごとに高くなる傾向にあり、女性の70歳代以上で74.0%と最も高くなっています。また、男性の30歳代では「災害時給水栓」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。

居住区別で見ると、南区で「マンホールトイレ」、堺区で「組立式簡易給水タンク」、美原区で「災害時給水栓」の割合が、全体より5ポイント以上高くなっています。



問4 堺市は治安に関する不安が少ない都市だと思いますか。(ひとつだけに○)

堺市は治安に関する不安が少ない都市だと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が50.6%となっています。

令和5年度調査と比べると、「どちらともいえない」の割合が5.9ポイント増加しています。

性別×年代でみると、男女とも70歳代以上で、“そう思う”の割合が6割近くと高くなっている一方、男性の40歳代と女性の30歳代で「あまりそう思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”の割合が3割以上と高くなっています。

居住年数別でみると、5～10年未満の層で“思わない”の割合が35.1%と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、若者、単身高齢者、高齢者夫婦で“そう思う”の割合が5割半ばを超えている一方、育児期では“思わない”が30.3%と高くなっています。



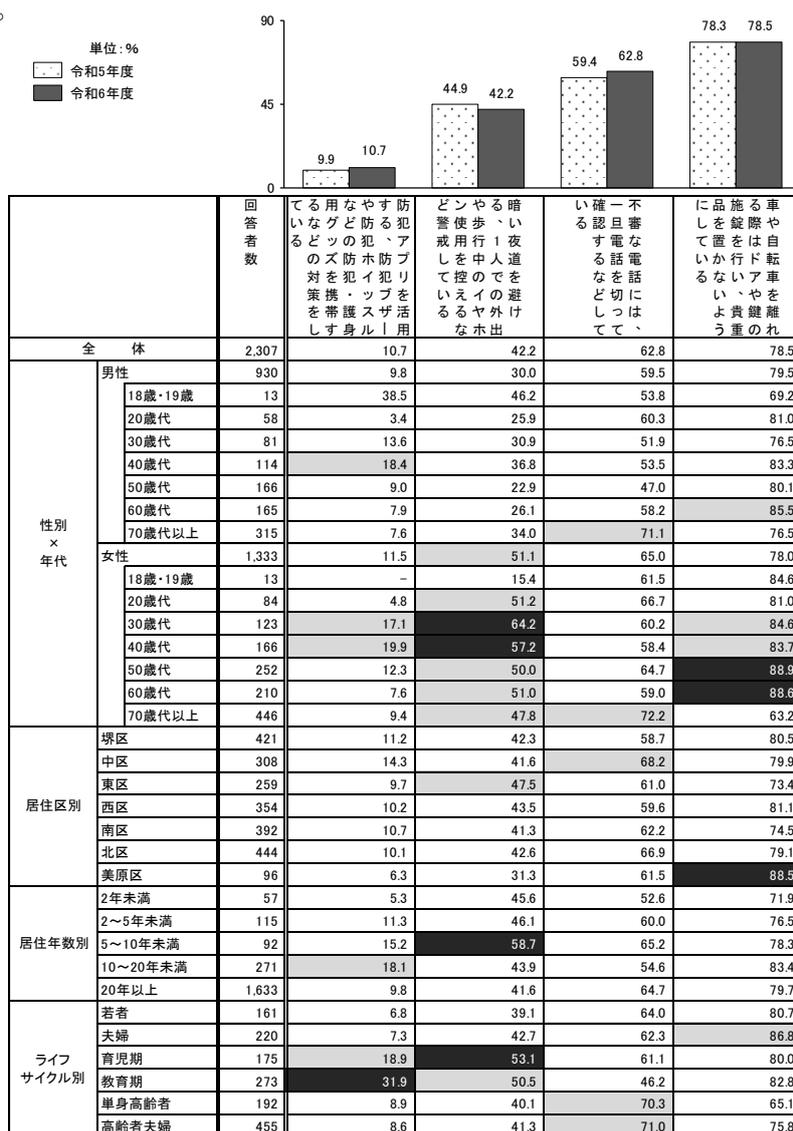
問5 生活に身近な犯罪（子どもや女性をねらった性犯罪・特殊詐欺・車上ねらい等の自動車関連犯罪など）に対して、あなたやあなたの家族が日頃から気にしている、または取り組んでいる防犯対策は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

生活に身近な犯罪（子どもや女性をねらった性犯罪・特殊詐欺・車上ねらい等の自動車関連犯罪など）に対して、あなたやあなたの家族が日頃から気にしている、または取り組んでいる防犯対策については、「車や自転車を離れる際はドアや鍵の施錠を行い、貴重品を置かないようにしている」の割合が78.5%と最も高く、次いで「不審な電話には、一旦電話を切って確認するなどしている」の割合が62.8%となっています。

令和5年度調査と比べると、「不審な電話には、一旦電話を切って確認するなどしている」の割合が3.4ポイント増加しています。

性別×年代で見ると、女性50～60歳代では「車や自転車を離れる際はドアや鍵の施錠を行い、貴重品を置かないようにしている」の割合が9割弱、女性30～40歳代では「暗い夜道を避ける、1人での外出や歩行中のイヤホン使用を控えるなど警戒している」の割合が6割前後と高くなっています。

ライフサイクル別で見ると、「防犯アプリを活用する、防犯ブザーや防犯ホイッスルなどの防犯・護身用グッズを携帯するなどの対策をしている」は、教育期で31.9%、育児期で18.9%と高くなっています。



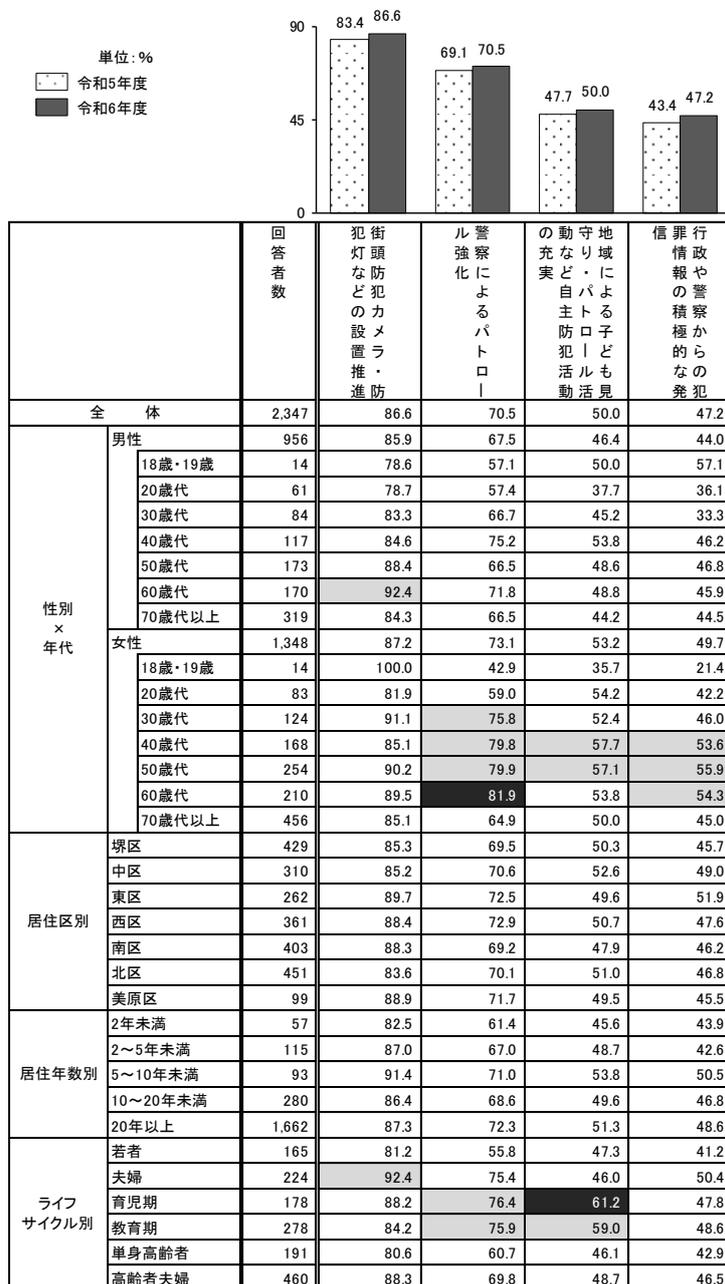
問6 生活に身近な犯罪（子どもや女性をねらった性犯罪・特殊詐欺・車上ねらい等の自動車関連犯罪など）を減らすために、有効と考えるものはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

生活に身近な犯罪（子どもや女性をねらった性犯罪・特殊詐欺・車上ねらい等の自動車関連犯罪など）を減らすために、有効と考えるものについては、「街頭防犯カメラ・防犯灯などの設置推進」の割合が86.6%と最も高く、次いで「警察によるパトロール強化」の割合が70.5%となっています。

令和5年度調査と比べると、いずれもやや増加していますが、傾向は変わりません。

性別×年代でみると、女性30～60歳代で「警察によるパトロール強化」、女性40～50歳代で「地域による子ども見守り・パトロール活動など自主防犯活動の充実」、女性40～60歳代で「行政や警察からの犯罪情報の積極的な発信」の割合が、全体に比べて高くなっています。

ライフサイクル別でみると、「地域による子ども見守り・パトロール活動など自主防犯活動の充実」は育児期で61.2%、教育期で59.0%と高くなっています。



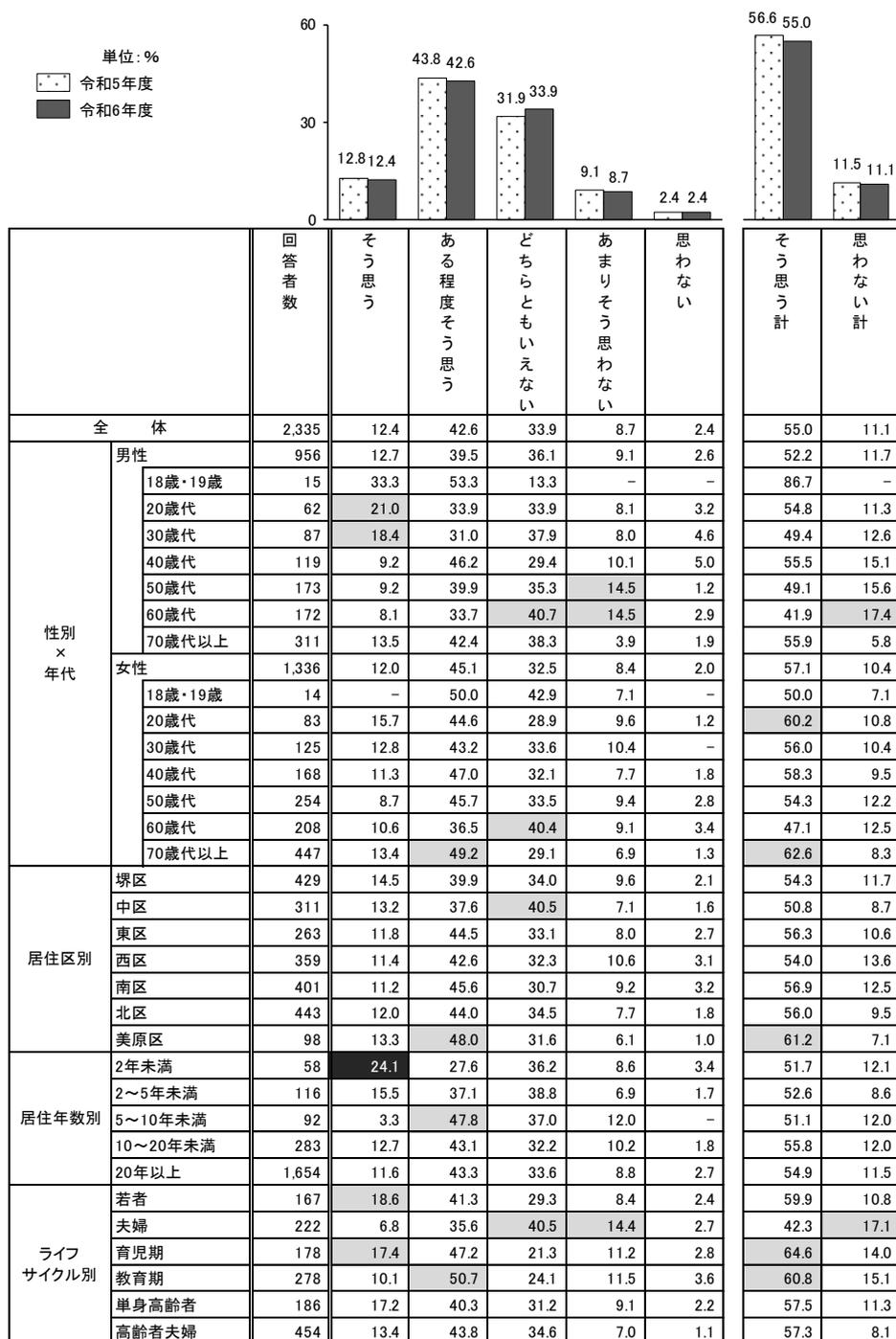
問7 堺市は子育てがしやすい都市だと思いますか。(ひとつだけに○)

堺市は子育てがしやすい都市だと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が55.0%となっています。

令和5年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、女性20歳代と70歳代以上で“そう思う”の割合が6割を超えています。一方、男性の60歳代で「あまりそう思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”が17.4%と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、育児期、教育期で“そう思う”の割合が6割台と高くなっています。



問8 前問で「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「思わない」を選んだ方に伺います。その選択肢を選んだ理由をお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

堺市は子育てがしやすい都市だと思わない理由については、「公園、歩道など子どもを安心して育てられる環境の整備が不十分だから」の割合が42.6%と最も高く、次いで「その他」の割合が32.7%、「仕事と子育てを両立するための理解や支援が不十分だから」の割合が32.4%となっています。

性別×年代で見ると、男性40歳代の「子育て支援制度が充実していないから」の割合が全体と比較して10ポイント以上高くなっています。

ライフサイクル別で見ると、育児期で「子育て支援制度が充実していないから」の割合と「仕事と子育てを両立するための理解や支援が不十分だから」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。



問9 あなたがお住まいの地域は近所づきあいが良いと思いますか。(ひとつだけに○)

住んでいる地域の近所づきあいが良いと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が47.4%となっています。

令和5年度調査と比べると、「あまりそう思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”の割合が2.4ポイント増加しています。

性別×年代でみると、女性70歳代以上で“そう思う”の割合が57.1%と高くなっています。一方、男性50歳代と女性30歳代では“思わない”の割合が3割半ば以上と高くなっています。

居住年数別でみると、居住年数が長くなるほど“そう思う”の割合が高くなっています。

ライフサイクル別でみると、若者、高齢者夫婦では“そう思う”の割合が5割を超えていますが、夫婦では35.3%と低く、“思わない”の割合が34.4%と高くなっています。



問10 健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり助け
てくれる人が身近にいますか。(ひとつだけに○)

健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり助けてくれる人が
身近にいるかについては、「いる」の割合が66.3%、「いない」の割合が33.7%となっています。

令和5年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、「いる」の割合は、女性では全ての年代で6割半ば～8割強と高いのに対
し、男性50歳代以上では約6割以下と低く、特に男性50歳代では49.1%と低くなっています。

居住区別でみると、美原区で「いる」の割合が79.8%と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、若者、育児期で「いる」の割合が7割台と高くなっています。



問 11 介護・子育て・就労・生活困窮・病気・メンタルヘルスなど生活や健康等の悩みがあるときの相談窓口を知っていますか。(ひとつだけに○)

※生活や健康等の相談窓口は、市役所などの行政機関のほか、NPOなどの民間団体の相談窓口を含みます。また相談の形態(対面、電話、メール、SNS)を問いません。

介護・子育て・就労・生活困窮・病気・メンタルヘルスなど生活や健康等の悩みがあるときの相談窓口を知っているかについては、「知っている」の割合が48.9%、「知らない」の割合が51.1%となっています。

令和5年度とは設問文がやや異なりますが、「知っている」の割合が8.1ポイント増加しています。

性別×年代で見ると、女性60歳代以上で「知っている」の割合が5割半ばを超える一方、男性30～60歳代では「知らない」の割合が6割台と高くなっています。

ライフサイクル別で見ると、「知っている」の割合は、育児期、高齢者夫婦で5割半ばと高い一方、夫婦では41.8%と低くなっています。



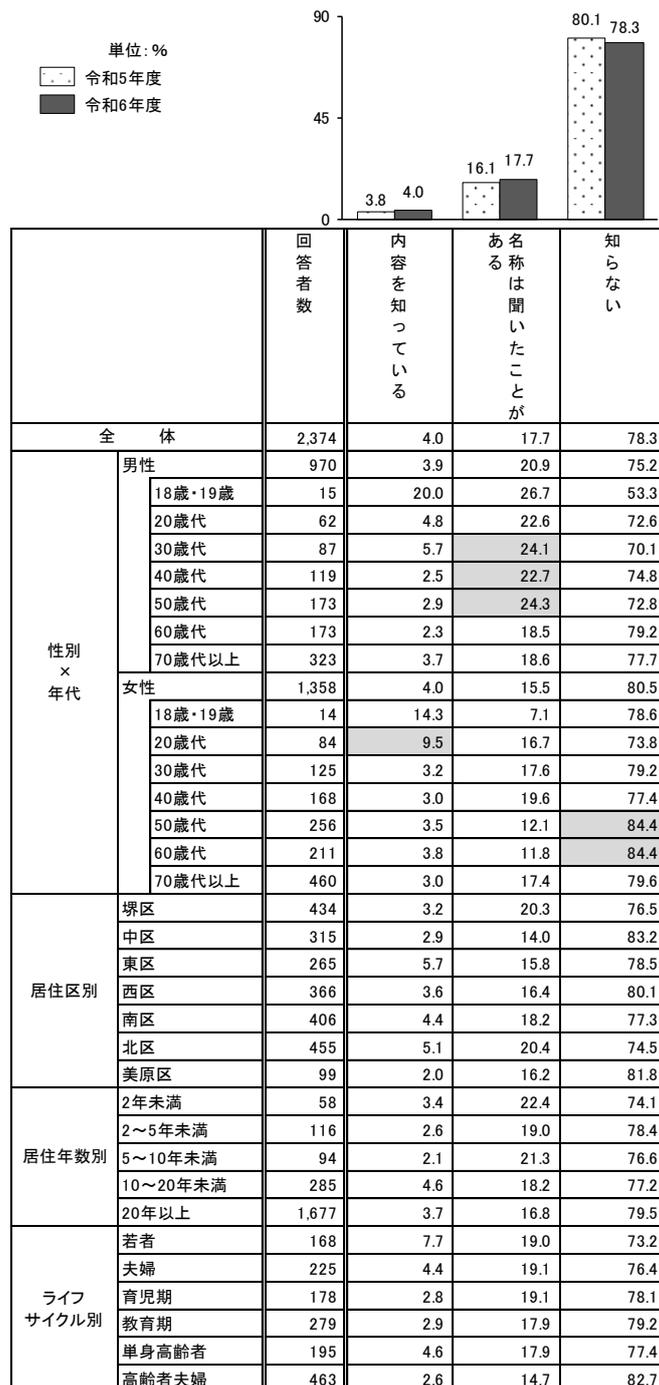
※令和5年度は設問文が「あなたは、生活や健康等の悩みがあるときの相談窓口を知っていますか。」(相談窓口は、行政機関による公的なものだけでなく民間団体によるものも含む。)

問 12 あなたはゲートキーパーについて知っていますか。(ひとつだけに○)
 ※ゲートキーパーとは、悩んでいる人や自殺の危険を示すサインを発している人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な相談窓口や支援につなげ、見守る人のことです。

ゲートキーパーについて知っているかについては、「知らない」の割合が78.3%と最も高く、次いで「名称は聞いたことがある」の割合が17.7%となっています。

令和5年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、女性20歳代で「内容を知っている」の割合が9.5%、男性30～50歳代で「名称は聞いたことがある」の割合が全体より5ポイント以上高くなっています。また、女性50～60歳代で「知らない」の割合がともに84.4%と高くなっています。



問 13 堺市は、地域行事（まつり、清掃活動、交流イベント等）や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発な都市だと思いますか。
（ひとつだけに○）

堺市は、地域行事（まつり、清掃活動、交流イベント等）や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発な都市だと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が54.1%となっています。

令和5年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、男女20歳代で“そう思う”の割合が6割半ばと高くなっています。

ライフサイクル別でみると、若者、育児期で“そう思う”の割合が6割台と高くなっています。



問 14 高齢者や子どもの見守りなど、地域福祉活動に参加したことがありますか。
(ひとつだけに○)

高齢者や子どもの見守りなど、地域福祉活動に参加したことがあるかについては、「ある」の割合が24.1%、「ない」の割合が75.9%となっています。

令和5年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代で見ると、男女20～30歳代および男性40歳代と60歳代で「ない」の割合が8割を超えています。一方、女性40～50歳代では「ある」が3割台と高くなっています。

居住年数別で見ると、10年未満の層で「ない」の割合が9割台と高くなっています。

ライフサイクル別で見ると、教育期で「ある」の割合が38.0%と高くなっています。



問 15 前問で「ない」を選んだ方に伺います。
参加したことがない、最も大きな理由をお選びください。(ひとつだけに○)

地域福祉活動に参加したことがない、最も大きな理由については、「普段から地域との関わりがないから」の割合が 30.4%と最も高く、次いで「時間がないから」の割合が 29.5%となっています。

令和5年度調査と比べると、「時間がないから」の割合が2.8ポイント増加するなどの増減はありますが、傾向は大きく変わりません。

性別×年代でみると、「時間がないから」の割合は、男性 30～40 歳代と 60 歳代、女性 30 歳代で 40%台と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、育児期、教育期で「時間がないから」の割合が5割弱と高くなっています。



問 16 定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の健康状態をチェックしていますか。(ひとつだけに○)

定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の健康状態をチェックしているかについては、「している」の割合が76.5%、「していない」の割合が23.5%となっています。

令和5年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代で見ると、「している」の割合は、男女ともに60歳代以上で8割以上と高くなっている一方、男性20～40歳代、女性20～30歳代では「していない」の割合が4割を超えています。

ライフサイクル別で見ると、「している」の割合は、高齢者夫婦では88.5%と高い一方、若者では52.9%と低くなっています。



問 17 40 歳～74 歳の方に伺います。

あなたは特定健康診査を受診していますか。(ひとつだけに○)

※特定健康診査とは、生活習慣病の予防のため、40 歳から 74 歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目し行う健診のことで、職場の健康診断や人間ドックを含みます。

40 歳～74 歳の方で、特定健康診査を受診しているかについては、「受診している」の割合が 72.3%、「受診していない」の割合が 27.7%となっています。

令和 5 年度調査と比べると、ほぼ同等となっています。

性別×年代で見ると、男性 50 歳代で「受診している」の割合が 78.9%と高くなっています。男性ではいずれの年代でも「受診している」の割合は 7 割台ですが、女性では 40 歳代と 70 歳代以上は 6 割台とやや低めになっています。



問 18 前問で「受診していない」を選んだ方にお伺いします。
受診していない、最も大きな理由をお選びください。(ひとつだけに○)

40歳～74歳の方で、特定健康診査を受診していない最も大きな理由については、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」の割合が41.6%と最も高く、次いで「時間がとれなかったから」の割合が18.6%、「その他」の割合が16.9%となっています。

令和5年度調査と比べると、「時間がとれなかったから」の割合が2.2ポイント増加しています。

性別×年代で見ると、男性の40歳代で「面倒だから」、男性の60歳代で「知らなかったから」、男女とも40歳代で「時間がとれなかったから」、女性の60歳代以上で「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」の割合が、全体より10ポイント以上高くなっています。



問 19 医療や介護、健康について相談でき、必要なときには専門機関などを紹介してくれる、かかりつけの医師はいますか。(ひとつだけに○)

必要なときに診療や相談ができる、かかりつけの医師がいるかについては、「いる」の割合が65.7%、「いない」の割合が34.3%となっています。

令和5年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代で見ると、男女とも70歳代以上で「いる」の割合が8割を超えている一方、男女とも30～40歳代と、男性の20歳代で「いない」の割合が5割を超えています。

居住年数別で見ると、年数が上がるにつれ「いる」の割合が増加する傾向にあります。

ライフサイクル別で見ると、単身高齢者、高齢者夫婦で「いる」の割合が8割台と高い一方、育児期では「いない」の割合が52.6%と高くなっています。



問 20 前問で「いない」を選んだ方に伺います。
 かかりつけの医師がいない、最も大きな理由をお選びください。
 (ひとつだけに○)

かかりつけの医師がいない最も大きな理由については、「特に健康に問題はなく、医療機関にかかることがほとんどないから」の割合が42.4%と最も高く、次いで「その都度、受診する医療機関を選んでいるから」の割合が34.0%となっています。

令和5年度調査と比べると、「その都度、受診する医療機関を選んでいるから」の割合が2.5ポイント減少するなどの増減はありますが、傾向は大きく変わりません。

性別×年代でみると、男性20歳代で「特に健康に問題はなく、医療機関にかかることがほとんどないから」の割合が約6割と高くなっています。

居住区別でみると、美原区で「その都度、受診する医療機関を選んでいるから」の割合が55.9%と高くなっています。



問 21 外出する頻度はどのくらいですか。(ひとつだけに○)
 ※学校、仕事、買い物、飲食、隣近所等への外出を含む

外出する頻度については、「週 5 回以上」の割合が 66.4%と最も高く、次いで「週 2～3 回」の割合が 15.6%、「週 4 回」の割合が 10.5%となっています。

令和 5 年度調査と比べると、「週 5 回以上」の割合が 2.1 ポイント増加しています。

性別×年代でみると、男女 20～50 歳代と男性 60 歳代で「週 5 回以上」の割合が 7 割半ばを超えています。

ライフサイクル別でみると、若者、夫婦、育児期、教育期で「週 5 回以上」の割合が、全体と比較して 10 ポイント以上高く、単身高齢者では「週 2～3 回」の割合が約 3 割半ばと高くなっています。



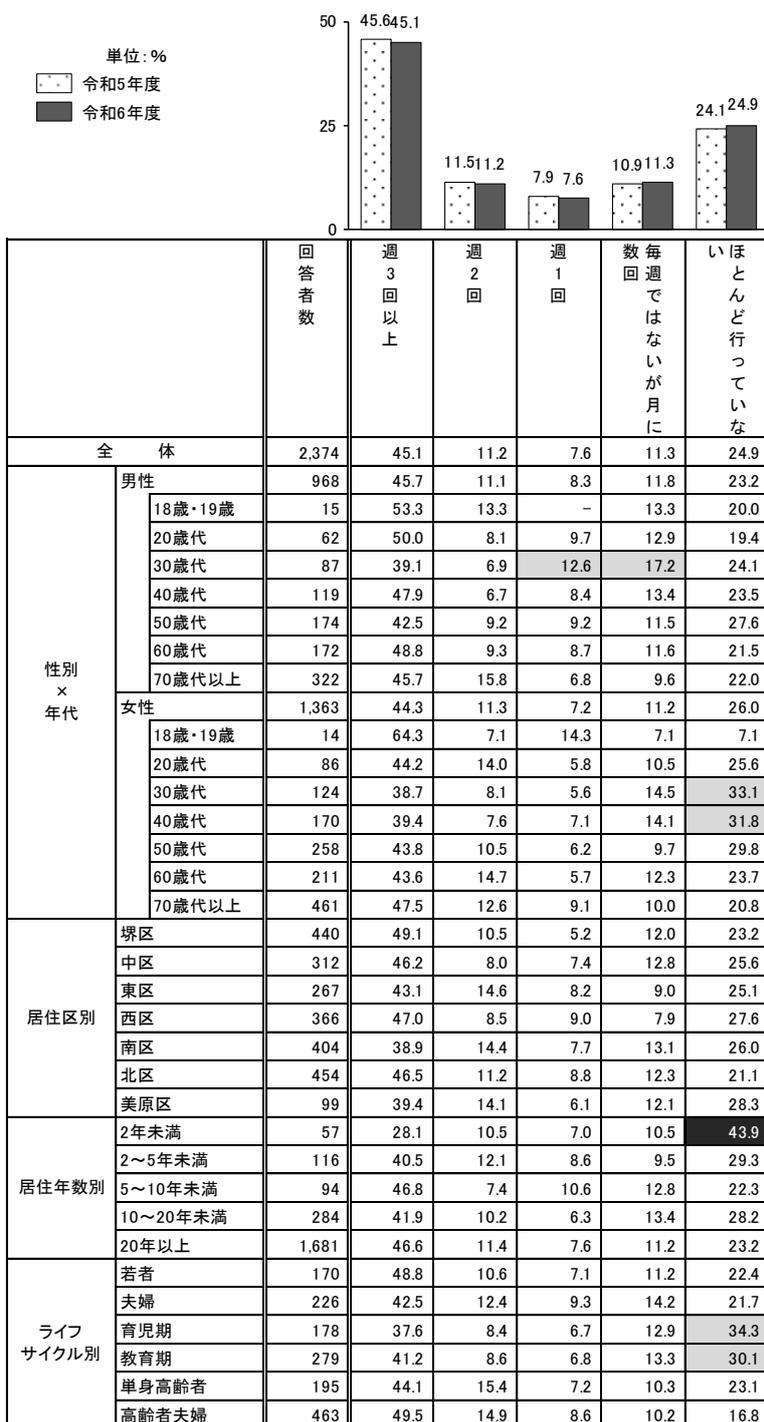
問 22 1日に30分以上の運動（日常の歩行や自転車を含む）やスポーツはどれくらい行っていますか。（ひとつだけに○）

1日に30分以上の運動（日常の歩行や自転車を含む）やスポーツはどれくらい行っているかについては、「週3回以上」の割合が45.1%と最も高く、次いで「ほとんど行っていない」の割合が24.9%、「毎週ではないが月に数回」の割合が11.3%となっています。

令和5年度調査と比べると、ほぼ同等となっています。

性別×年代でみると、女性30～40歳代で「ほとんど行っていない」の割合が3割以上と高めになっています。

居住年数別でみると、2年未満の層では「ほとんど行っていない」の割合が43.9%と高くなっています。



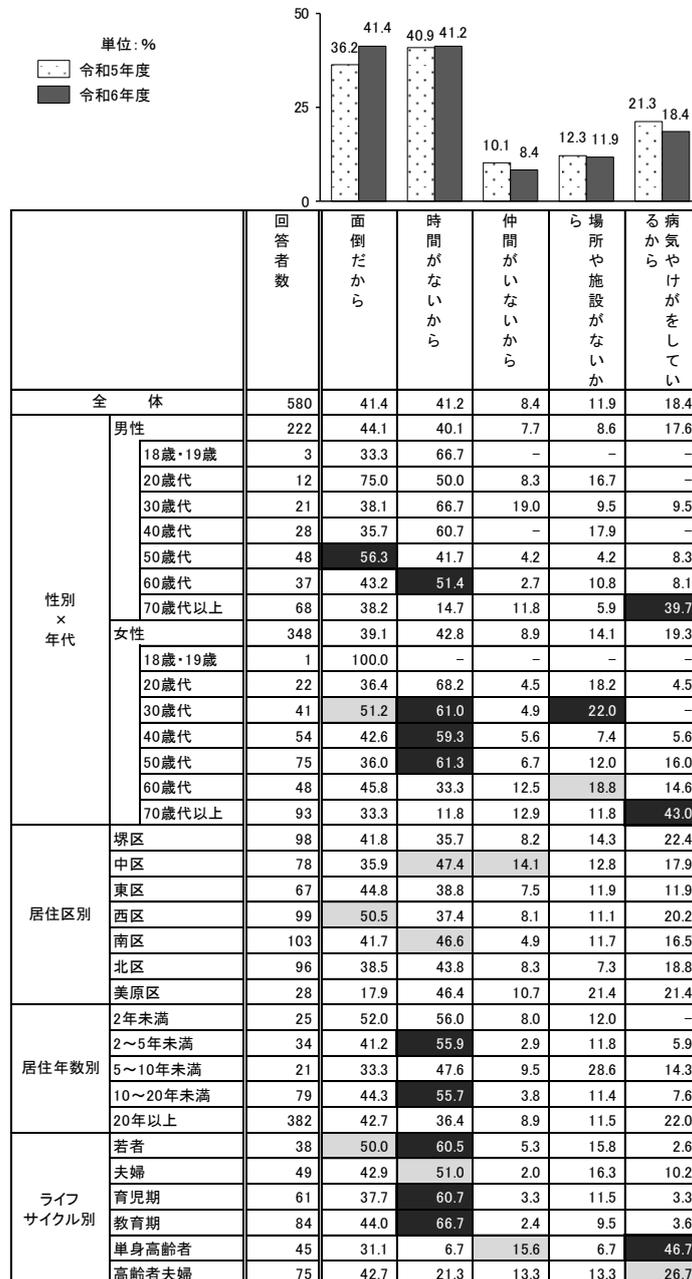
問 23 前問で「ほとんど行っていない」を選んだ方に伺います。
 ほとんど行っていない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1日に30分以上の運動(日常の歩行や自転車を含む)やスポーツをほとんど行っていない理由については、「面倒だから」の割合が41.4%と最も高く、次いで「時間がないから」の割合が41.2%、「病気やけがをしているから」の割合が18.4%となっています。

令和5年度調査と比べると、「面倒だから」の割合が5.2ポイント増加し、「病気やけがをしているから」の割合が2.9ポイント減少しています。

性別×年代で見ると、男性60歳代、女性30～50歳代で「時間がないから」の割合が5割を超えています。また、男女とも70歳以上では、「病気やけがをしているから」の割合が約4割と高くなっています。

ライフサイクル別で見ると、若者、育児期、教育期で「時間がないから」の割合が6割以上と高くなっています。単身高齢者では「病気やけがをしているから」の割合が46.7%と高くなっています。



問 24 各種講座への参加、個人で行う学習、教育機関で行う学習、趣味やボランティアを通じた学習などの生涯学習活動に取り組んでいますか。(ひとつだけに○)

各種講座への参加、個人で行う学習、教育機関で行う学習、趣味やボランティアを通じた学習などの生涯学習活動に取り組んでいるかについては、「取り組んでいない」の割合が 64.1%と最も高く、次いで「あまり取り組んでいない」の割合が 16.6%となっています。

令和5年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、「取り組んでいる」の割合は、男性 20 歳代で 32.3%と高くなっています。一方、男性 40～50 歳代と 70 歳代以上では「あまり取り組んでいない」と「取り組んでいない」を合わせた「取り組んでいない」の割合が8割後半と高くなっています。



C 都市魅力について（文化・観光・産業・環境等）

問1 堺市は街並みの美しさに満足できる都市だと思いますか。（ひとつだけに○）

堺市は街並みの美しさに満足できる都市だと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が47.8%となっています。

令和5年度調査と比べると、「ある程度そう思う」の割合が2.8ポイント減少しています。

性別×年代でみると、女性20歳代と40歳代で“そう思う”の割合が約5割半ばと高くなっています。

居住区別でみると、南区で“そう思う”の割合が57.4%と高くなっています。



問2 堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力がある都市だと思いますか。
(ひとつだけに○)

堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力がある都市だと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が41.6%となっています。

令和5年度調査と比べると、「ある程度そう思う」の割合は3.4ポイント減少しています。

性別×年代でみると、女性20歳代で“そう思う”の割合が52.3%と高い一方、男性40歳代では、「あまりそう思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”の割合が32.8%と高くなっています。

居住区別でみると、堺区で“そう思う”の割合が48.1%と高くなっています。

居住年数別でみると、2年未満の層で“そう思う”の割合が50.9%と高くなっています。



問3 おおむね1年以内に、外国人と交流しましたか。(ひとつだけに○)
※SNSなどオンラインでの交流を含む

おおむね1年以内に、外国人と交流したかについては、「した」の割合が17.6%、「していない」の割合が82.4%となっています。

令和5年度調査と比べると、ほぼ同等となっています。

性別×年代で見ると、男女ともに、年代が低くなるにつれて「した」の割合が高くなる傾向がみられ、女性20歳代では約4割と高い一方、男女とも70歳代以上では1割未満となっています。

ライフサイクル別で見ると、若者で「した」が38.8%と高くなっている一方、単身高齢者と高齢者夫婦では「していない」の割合が約9割となっています。



問4 前問で「していない」を選んだ方に伺います。
交流していない、最も大きな理由をお選びください。(ひとつだけに○)

おおむね1年以内に、外国人と交流していない、最も大きな理由については、「交流する機会がないから」の割合が66.5%と最も高く、次いで「興味がないから」の割合が13.1%、「言葉が通じないから」の割合が10.4%となっています。

令和5年度調査と比べると、「興味がないから」の割合が2.1ポイント増加し、「交流する機会がないから」の割合が3.2ポイント減少しています。

性別×年代でみると、男性60歳代、女性20～60歳代で「交流する機会がないから」の割合が7割を超えています。

ライフサイクル別でみると、若者、夫婦、育児期、教育期で「交流する機会がないから」の割合が7割台と高くなっています。



問5 堺市は歴史文化資源を身近に感じることができる都市だと思いますか。
(ひとつだけに○)

堺市は歴史文化資源を身近に感じることができる都市だと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が72.0%となっています。

令和5年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、男性30歳代で「そう思う」の割合が34.9%と高くなっています。

居住区別でみると、“そう思う”の割合は、堺区で78.9%と高くなっています。



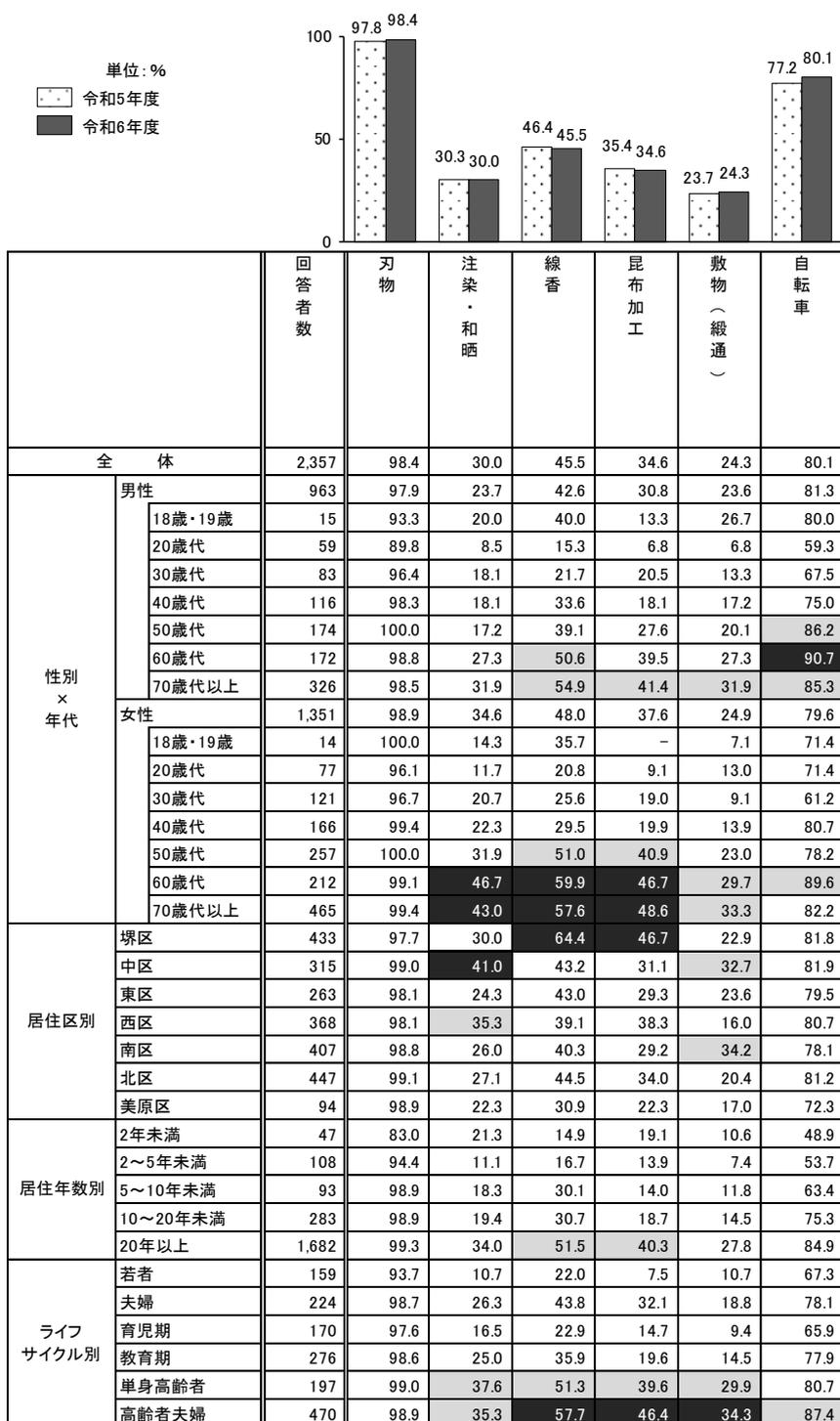
問6 次のうち、堺の伝統産業であることを知っているものをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

堺の伝統産業であることを知っているものについては、「刃物」の割合が98.4%と最も高く、次いで「自転車」の割合が80.1%、「線香」の割合が45.5%となっています。

令和5年度調査と比べると、「自転車」の割合が2.9ポイント増加しています。

性別×年代でみると、女性60歳代以上でいずれの品も伝統産業であることを知っている割合が高い傾向がみられます。

居住区別でみると、堺区で「線香」の割合が64.4%、「昆布加工」の割合が46.7%、中区で「注染・和晒」の割合が41.0%と、他区と比べて高くなっています。



問7 次の堺産品で購入したことがあるものをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

堺産品で購入したことがあるものについては、「和菓子」の割合が75.3%と最も高く、次いで「堺打刃物・堺刃物」の割合が54.2%、「昆布（おぼろ昆布・とろろ昆布）」の割合が34.9%となっています。

令和5年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、女性60歳代で「注染・和晒（手ぬぐい・ゆかた）」の割合が28.9%、「和菓子」の割合が86.1%と高くなっています。また、男女ともに70歳代以上で「堺打刃物・堺刃物」の割合が6割半ばと高くなっています。

居住区別でみると、堺区で「線香」の割合が45.3%と高くなっています。



問 8 自転車を利用する方に伺います。
あなたがお住まいの地域の自転車の利用環境に満足していますか。
(ひとつだけに○)

地域の自転車の利用環境に満足しているかについて、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が41.6%となっています。

令和5年度調査と比べると、“そう思う”の割合は3.7ポイント減少しています。

性別×年代でみると、男女とも20歳代で“そう思う”の割合が6割台と高くなっています。

居住区別でみると、“そう思う”の割合は、堺区で48.8%と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、若者で“そう思う”の割合が61.1%と高くなっています。



問9 前問で「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「思わない」を選んだ方に伺います。

あなたがお住まいの地域の自転車利用環境について、次の項目のうち、満足していないものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

地域の自転車の利用環境に満足していないものは、「道路の走りやすさ」が76.3%で最も高く、次いで「自転車利用者の交通ルールの順守度」の割合が49.9%、「駅前駐輪場の利便性」の割合が36.2%となっています。

令和5年度調査と比べると、「駅前駐輪場の利便性」の割合が3.9ポイント減少しています。

性別×年代でみると、男性70歳代以上で「自転車利用者の交通ルールの順守度」が全体より10ポイント以上高くなっています。

居住区別でみると、堺区で「駅前駐輪場の利便性」、美原区で「道路の走りやすさ」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。



問 10 堺市は文化・芸術活動をしやすい都市だと思いますか。(ひとつだけに○)

堺市は文化・芸術活動をしやすい都市だと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が36.7%となっています。

令和5年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、男性30歳代と女性20～40歳代で“そう思う”の割合が4割を超えています。

居住区別でみると、堺区と美原区で“そう思う”の割合が4割台と高くなっています。



問 11 フェニーチェ堺（堺市民芸術文化ホール）や文化会館、文化館（堺 アルフォンス・ミュシャ館）を文化・芸術の活動や鑑賞等のために利用したことがありますか。（ひとつだけに○）

フェニーチェ堺（堺市民芸術文化ホール）や文化会館、文化館（堺 アルフォンス・ミュシャ館）を文化・芸術の活動や鑑賞等のために利用したことがあるかについては、「利用したことはない」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「定期的な利用はないが、過去に利用したことがある」の割合が 37.2%となっています。

令和5年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、男性 40～50 歳代で「利用したことはない」の割合が 6 割を超えています。

居住年数別でみると、5 年未満の層で「利用したことはない」の割合が全体より 10 ポイント以上高くなっています。



問 12 前問で「定期的な利用はないが、過去に利用したことがある」「利用したことはない」を選んだ方に伺います。

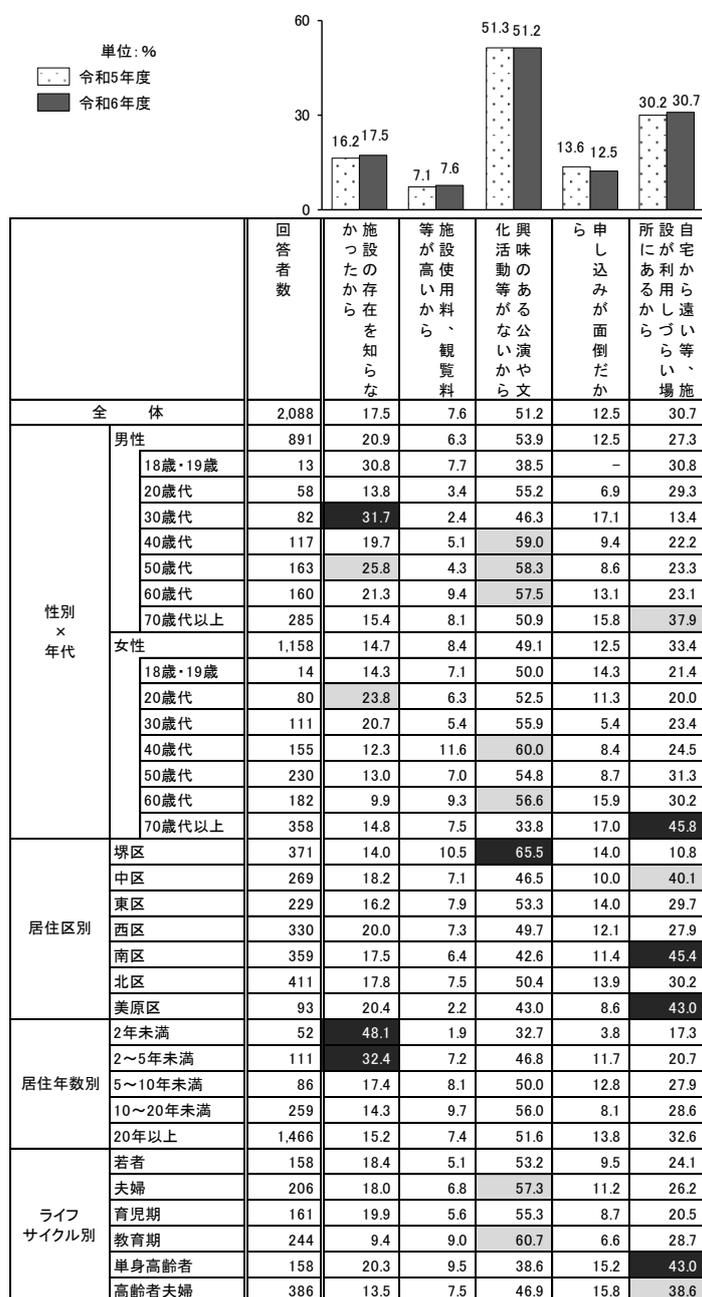
その選択肢を選んだ理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

フェニーチェ堺や文化会館、文化館を文化・芸術の活動や鑑賞等のために利用したことがあるかについて、「定期的な利用はないが、過去に利用したことがある」「利用したことはない」を選んだ理由は、「興味のある公演や文化活動等がないから」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「自宅から遠い等、施設が利用しづらい場所にあるから」の割合が 30.7%、「施設の存在を知らなかったから」の割合が 17.5%となっています。

令和5年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、男性 30 歳代では、「施設の存在を知らなかったから」が 31.7%と高くなっています。

居住区別でみると、「自宅から遠い等、施設が利用しづらい場所にあるから」の割合が、南区で 45.4%、美原区で 43.0%、と他区と比べて高くなっています。



問 13 おおむね 6 か月以内に、通勤、通学以外の目的で都心エリアを訪れましたか。
 (ひとつだけに○)

※都心エリアとは、堺東駅から堺駅の周辺や阪堺線沿線を含むエリアであり、さかい利晶の杜や大浜公園などの施設や店舗なども含みます。

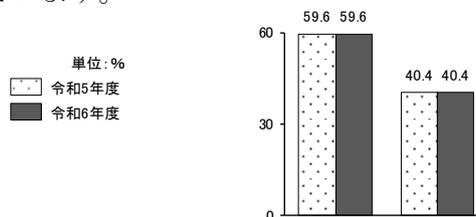
おおむね 6 か月以内に、通勤、通学以外の目的で都心エリア（堺東駅から堺駅の周辺や阪堺線沿線を含むエリア）を訪れたかについては、「訪れた」の割合が 59.6%、「訪れていない」の割合が 40.4%となっています。

令和 5 年度調査と比べると、全く同等となっています。

性別×年代でみると、「訪れた」の割合は、男性 40 歳代で 73.1%と最も高い一方、男女とも 70 歳代以上で 4 割台と低くなっています。

居住区別でみると、「訪れた」の割合は、堺区で 79.5%と最も高くなっており、南区、美原区で 4 割台と低くなっています。

ライフサイクル別でみると、「訪れた」の割合は、夫婦が 71.4%と高くなっている一方、単身高齢者が 48.0%と低くなっています。



		回答者数	訪れた	訪れていない
全 体		2,386	59.6	40.4
性別 × 年代	男性	974	63.1	36.9
	18歳・19歳	15	60.0	40.0
	20歳代	62	72.6	27.4
	30歳代	87	72.4	27.6
	40歳代	119	73.1	26.9
	50歳代	175	65.7	34.3
	60歳代	173	71.7	28.3
	70歳代以上	327	49.5	50.5
	女性	1,369	57.5	42.5
	18歳・19歳	14	50.0	50.0
	20歳代	86	70.9	29.1
	30歳代	124	69.4	30.6
	40歳代	169	63.9	36.1
	50歳代	259	64.1	35.9
60歳代	214	62.6	37.4	
70歳代以上	464	44.4	55.6	
居住区別	堺区	440	79.5	20.5
	中区	314	52.5	47.5
	東区	269	62.1	37.9
	西区	370	57.8	42.2
	南区	406	44.1	55.9
	北区	456	63.8	36.2
	美原区	100	43.0	57.0
居住年数別	2年未満	58	62.1	37.9
	2～5年未満	116	72.4	27.6
	5～10年未満	94	64.9	35.1
	10～20年未満	286	66.8	33.2
	20年以上	1,686	59.0	41.0
ライフ サイクル別	若者	170	67.6	32.4
	夫婦	227	71.4	28.6
	育児期	176	68.8	31.3
	教育期	279	65.9	34.1
	単身高齢者	196	48.0	52.0
	高齢者夫婦	471	52.2	47.8

問 14 前問で「訪れた」を選んだ方に伺います。次のどのような目的で訪れましたか。
(あてはまるものすべてに○)

おおむね6か月以内に、通勤、通学以外の目的で都心エリアを訪れた人の目的は、「買物・食事」の割合が78.4%と最も高く、次いで「公共施設（市役所、保健センター、病院等）の利用」の割合が31.2%、「娯楽・レジャー・催事」の割合が30.3%となっています。

令和5年度調査と比べると、「公共施設（市役所、保健センター、病院等）の利用」の割合が3.3ポイント減少しています。

性別×年代で見ると、男性 20～40 歳代、女性 40 歳代で「娯楽・レジャー・催事」の割合が全体より 10 ポイント以上高くなっています。

居住区別で見ると、堺区で「公共施設（市役所、保健センター、病院等）の利用」の割合が 42.3%と、他区と比べて高くなっています。



問 15 問 13 で「訪れた」を選んだ方に伺います。
都心エリアでの平均滞在時間は、どのくらいでしたか。(ひとつだけに○)

おおむね 6 か月以内に、通勤、通学以外の目的で都心エリアを訪れた人の平均滞在時間は「1 時間～2 時間程度」の割合が 50.3%と最も高く、次いで「3 時間～5 時間程度」の割合が 30.0%、「1 時間以内」の割合が 17.3%となっています。

令和 5 年度調査と比べると、「3 時間～5 時間程度」の割合が 2.6 ポイント増加しています。

性別×年代でみると、男性 20 歳代で「3 時間～5 時間程度」の割合が、45.2%と全体より 10 ポイント以上高くなっています。

居住区別でみると、東区と南区で「3 時間～5 時間程度」の割合が 4 割台と他区と比べて高くなっています。



**問 16 現在、仕事をしておらず、就職活動もしていない方に伺います。
その理由はなぜですか。（あてはまるものすべてに○）**

現在、仕事をしておらず、就職活動もしていない方の理由は、「高齢のため」の割合が 70.1%と最も高く、次いで「病気やけがのため」の割合が 16.2%、「配偶者の収入や蓄えなどで、仕事をしなくても生活ができるため」の割合が 16.1%となっています。

令和 5 年度調査と比べると、「病気やけがのため」の割合が 2.1 ポイント増加しています。

性別×年代で見ると、女性 50 歳代で「高齢のため」を除いたすべての選択肢の割合が全体と比較して 10 ポイント以上高くなっています。

ライフサイクル別で見ると、単身高齢者と高齢者夫婦で「高齢のため」の割合が 9 割以上と高くなっています。また、「育児や介護などで家を離れられないため」の割合が育児期で 75.6%、教育期で 45.6%と高くなっています。



問 17 堺市内で採れた食材を、選んで食べていますか。(おおむね6か月以内)
(ひとつだけに○)

堺市内で採れた食材を、選んで食べているか(おおむね6か月以内)については、「食べていない」の割合が40.4%と最も高く、次いで「時々食べている」の割合が38.5%、「月に数回食べている」の割合が10.8%、「おおむね毎週食べている」の割合が10.3%となっています。「食べていない」を除いた“食べている”の割合は59.6%となっています。

令和5年度調査と比べると、“食べている”の割合が2.1ポイント減少しています。

性別×年代でみると、女性60歳代以上で“食べている”の割合が7割を超えている一方、男性20～60歳代と女性20～30歳代では「食べていない」の割合が5割を超えています。

居住区別でみると、中区と南区で“食べている”の割合が6割半ば以上と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、高齢者夫婦で“食べている”の割合が7割を超えています。一方、若者、育児期で「食べていない」の割合が5割を超えています。

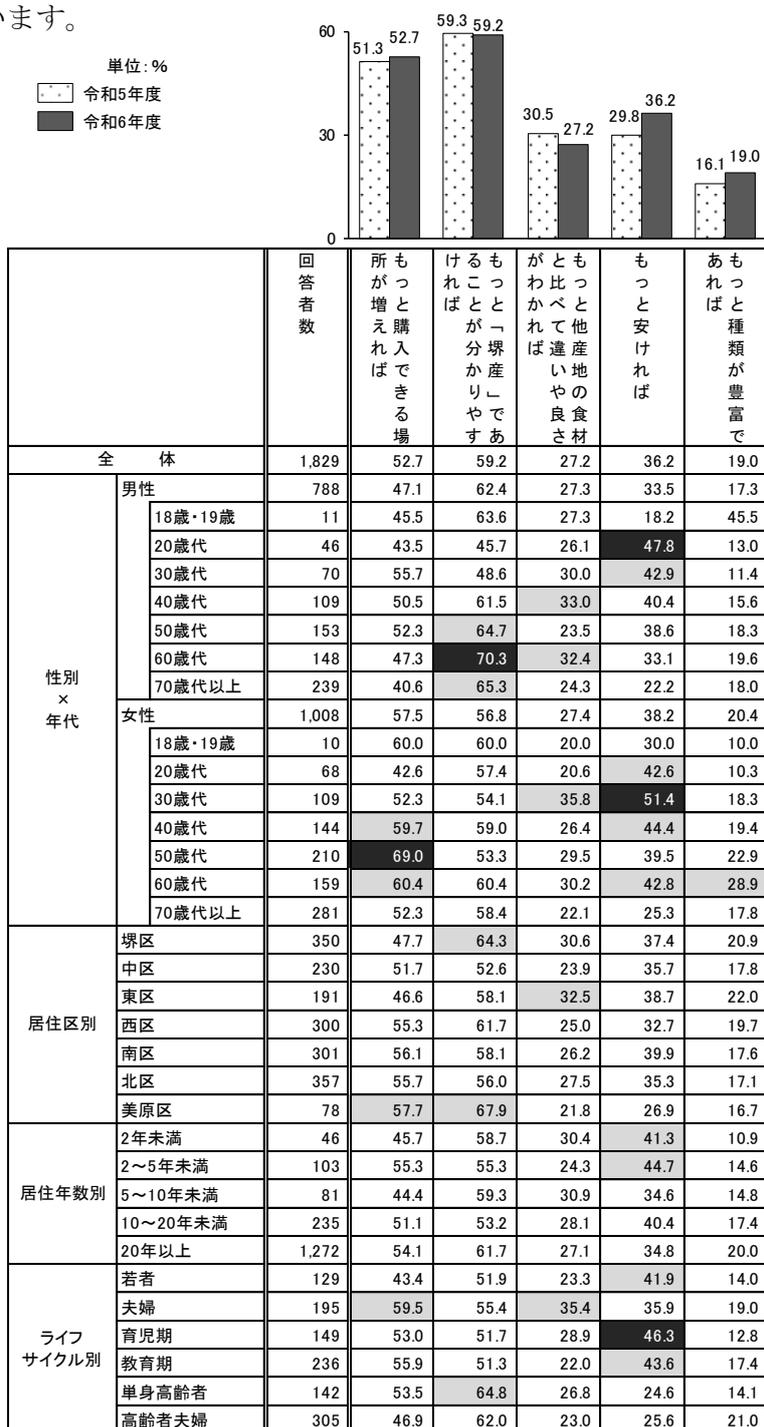


問 18 前問で「時々食べている」「食べていない」を選んだ方に伺います。
 どうすれば、今よりも市内で採れた食材を食べようと思いますか。
 (あてはまるものすべてに○)

堺市内で採れた食材を、選んで食べているか(おおむね6か月以内)について、「時々食べている」「食べていない」を選んだ方は、「もっと「堺産」であることが分かりやすければ」の割合が59.2%と最も高く、次いで「もっと購入できる場所が増えれば」の割合が52.7%、「もっと安ければ」の割合が36.2%となっています。

令和5年度調査と比べると、「もっと安ければ」の割合が6.4ポイント増加しています。

性別×年代で見ると、男性20歳代と女性30歳代で「もっと安ければ」の割合が5割前後と高くなっています。また、女性50～60歳代で「もっと購入できる場所が増えれば」の割合が6割台と高くなっています。

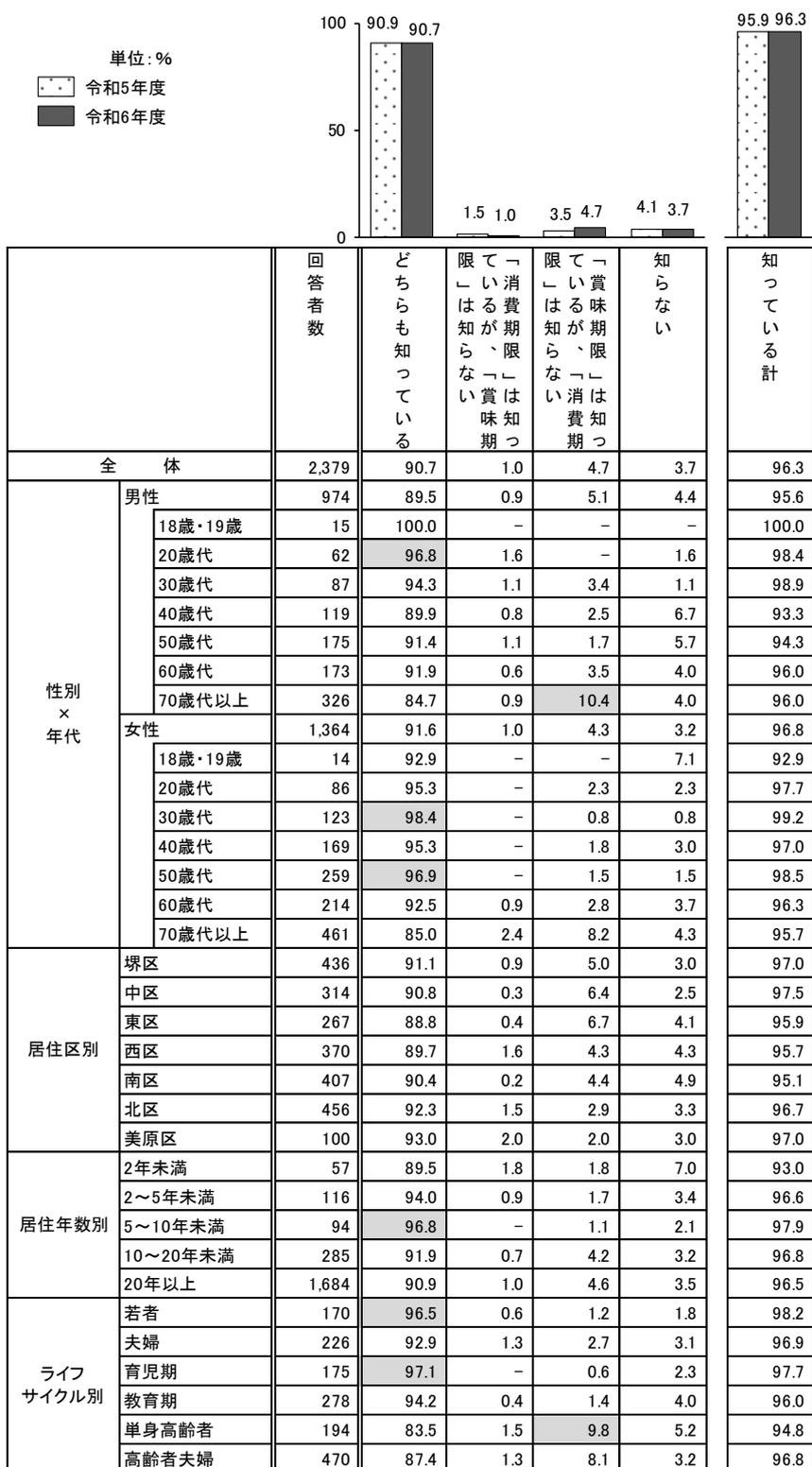


問 19 あなたは「消費期限」と「賞味期限」の意味を知っていますか。
(ひとつだけに○)

「消費期限」と「賞味期限」の意味を知っているかについては、「どちらも知っている」の割合が90.7%と最も高くなっています。

令和5年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、「どちらも知っている」の割合は男性40歳代と男女とも70歳代以上で8割台となっていますが、その他の年代ではいずれも9割以上となっています。



問 20 あなたはどのような理由で「食品ロス」を発生させたことがありますか。

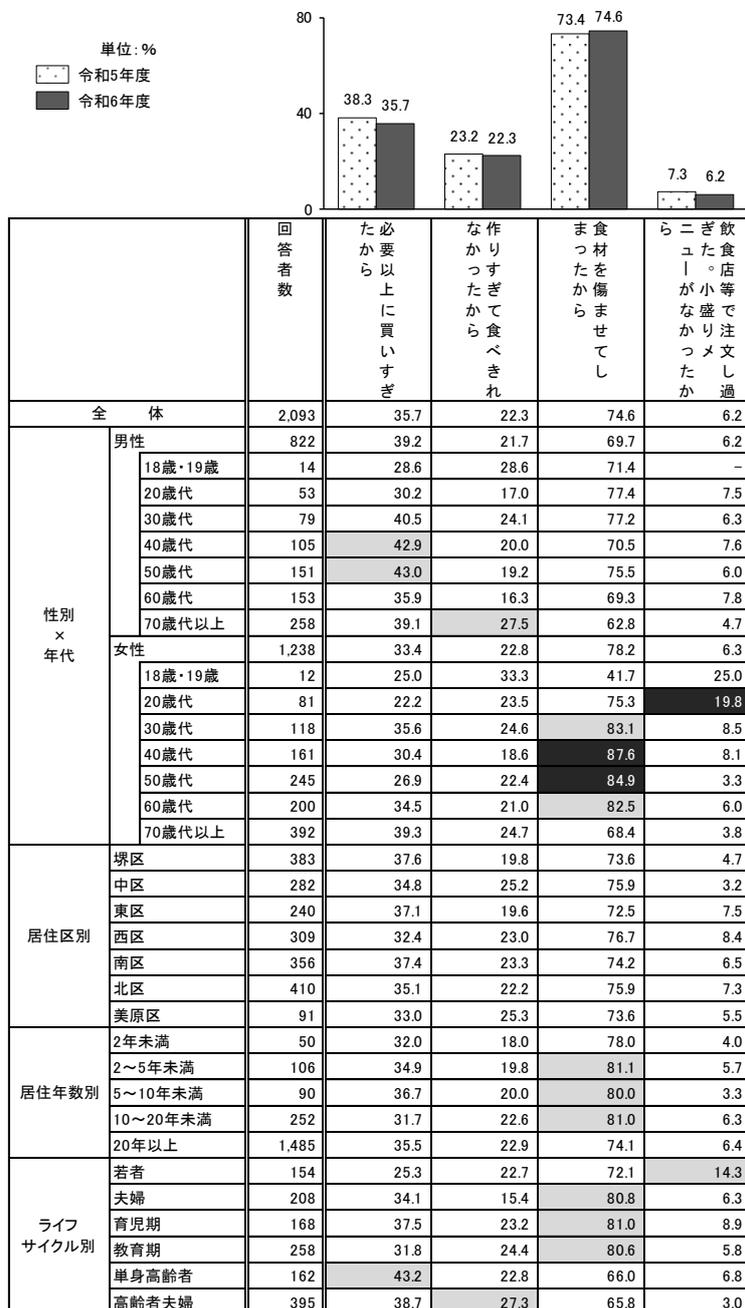
(あてはまるものすべてに○)

※食品ロスとは、食べ残し、賞味期限切れ等の理由により食べられるのに捨てられている食品のことです。

どのような理由で「食品ロス」を発生させたことがあるかについては、「食材を傷ませてしまったから」の割合が 74.6%と最も高く、次いで「必要以上に買いすぎたから」の割合が 35.7%、「作りすぎて食べきれなかったから」の割合が 22.3%となっています。

令和 5 年度調査と比べると、「必要以上に買いすぎたから」の割合が 2.6 ポイント減少しています。

性別×年代で見ると、女性 30～60 歳代で「食材を傷ませてしまったから」の割合が 8 割を超えています。また、女性 20 歳代で「飲食店等で注文し過ぎた。小盛りメニューがなかったから」が 19.8%と高くなっています。



問 21 ごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。(ひとつだけに○)

ごみの減量やリサイクルに取り組んでいるかについては、「ごみの分別などルールを守っている」の割合が 69.4%と最も高く、次いで「積極的に取り組んでいる」の割合が 17.9%となっています。

令和 5 年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、「あまり取り組んでいない」と「取り組んでいない」を合わせた“取り組んでいない”の割合が男性 20 歳代と 40 歳代で 2 割半ばと高くなっています。

居住年数別でみると、2～10 年未満の層で“取り組んでいない”の割合が全体と比較して 5 ポイント以上高くなっています。

ライフサイクル別でみると、単身高齢者で「ごみの分別などルールを守っている」が 78.5%と高くなっています。

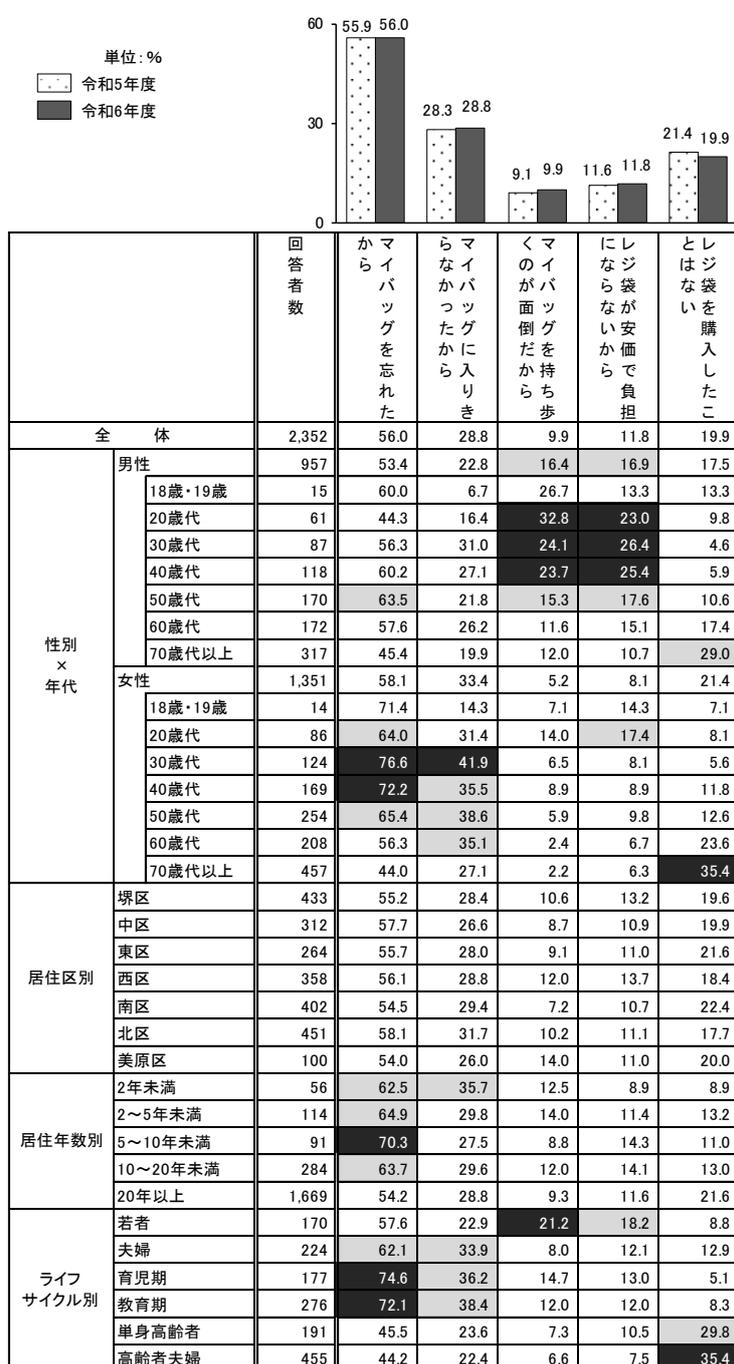


問 22 レジ袋有料化後、あなたがレジ袋を購入したのはどのような理由からですか。
 (あてはまるものすべてに○)

レジ袋有料化後、レジ袋を購入したのはどのような理由かについては、「マイバッグを忘れたから」の割合が56.0%と最も高く、次いで「マイバッグに入りきらなかったから」の割合が28.8%、「レジ袋を購入したことはない」の割合が19.9%となっています。

令和5年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、女性30～40歳代で「マイバッグを忘れたから」、女性30歳代で「マイバッグに入りきらなかったから」、男性20～40歳代で「マイバックを持ち歩くのが面倒だから」、「レジ袋が安価で負担にならないから」、女性70歳代以上で「レジ袋を購入したことはない」の割合がそれぞれ高くなっています。



問 23 戸建て住宅の持ち家にお住まいの方に伺います。
 あなたがお住まいの住宅では、太陽光発電を導入していますか。
 (ひとつだけに○)

住宅で太陽光発電を導入しているかについては、「導入している」の割合が 11.6%、「導入していない」の割合が 88.4%となっています。

令和 5 年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、男性 20 歳代と女性 40 歳代で「導入している」の割合が 2 割台と高くなっています。

居住年数別でみると、5～10 年未満の層で「導入している」の割合が 28.9%と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、育児期、教育期で「導入している」の割合が 2 割台と高くなっています。



**問 24 前問で「導入していない」を選んだ方に伺います。
導入していない理由をお選びください。（あてはまるものすべてに○）**

住宅で太陽光発電を導入しているかについて、「導入していない」理由は、「太陽光発電の導入費用が高いから」の割合が62.0%と最も高く、次いで「耐荷重といった建物強度や屋根の漏水等の心配があるから」の割合が30.6%、「太陽光発電の導入について関心がないから」の割合が29.3%となっています。

令和5年度調査と比べると、「太陽光発電の導入費用が高いから」の割合が2.5ポイント減少しています。

性別×年代でみると、「太陽光発電の導入費用が高いから」の割合は、男性30歳代で72.5%、女性40～50歳代で7割強と高くなっています。

居住区別でみると、美原区で「耐荷重といった建物強度や屋根の漏水等の心配があるから」、「太陽光発電の導入費用が高いから」の割合が高めになっています。



問 25 あなたのお住まいの地域は緑豊かだと思いますか。(ひとつだけに○)

※緑とは森、農地、公園、街路樹などです。

お住まいの地域が緑豊かだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が61.7%となっています。

性別×年代でみると、女性20歳代で“そう思う”の割合が68.6%と高くなっています。

居住区別でみると、南区で“そう思う”の割合が92.6%と高くなっています。一方、西区は44.3%と低くなっています。

ライフサイクル別でみると、若者で“そう思う”の割合が67.6%と高くなっています。

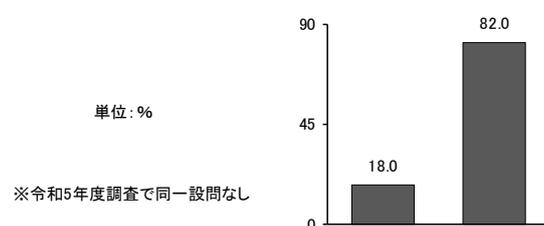


問 26 時刻表や運行経路がない予約型乗合バスである「AI オンデマンドバス」や利用者に必要な情報・サービスを最適にお届けする「my door OSAKA (マイド・ア・おおさか)」など、先進技術を活用し暮らしの質の向上をめざすスマートシティの取組を知っていますか。(ひとつだけに○)

時刻表や運行経路がない予約型乗合バスである「AI オンデマンドバス」や利用者に必要な情報・サービスを最適にお届けする「my door OSAKA (マイド・ア・おおさか)」など、先進技術を活用し暮らしの質の向上をめざすスマートシティの取組を知っているかについては、「知っている」の割合が18.0%、「知らない」の割合が82.0%となっています。

性別×年代でみると、「知っている」の割合は、男性70歳代以上で24.7%と高い一方、男性30歳代で「知らない」の割合が92.0%と高くなっています。

居住区別でみると、「知っている」の割合は、南区で41.2%と高くなっています。



		回答者数	知っている	知らない
全 体		2,367	18.0	82.0
性別 × 年代	男性	966	19.3	80.7
	18歳・19歳	15	26.7	73.3
	20歳代	62	11.3	88.7
	30歳代	87	8.0	92.0
	40歳代	119	11.8	88.2
	50歳代	174	20.1	79.9
	60歳代	173	22.0	78.0
	70歳代以上	320	24.7	75.3
	女性	1,359	17.1	82.9
	18歳・19歳	14	7.1	92.9
	20歳代	86	9.3	90.7
	30歳代	123	17.1	82.9
	40歳代	169	17.2	82.8
	50歳代	258	18.6	81.4
60歳代	212	20.3	79.7	
70歳代以上	459	17.4	82.6	
居住区別	堺区	435	12.4	87.6
	中区	315	14.0	86.0
	東区	267	12.0	88.0
	西区	365	14.2	85.8
	南区	403	41.2	58.8
	北区	452	14.4	85.6
	美原区	100	10.0	90.0
居住年数別	2年未満	57	8.8	91.2
	2～5年未満	116	17.2	82.8
	5～10年未満	94	10.6	89.4
	10～20年未満	283	15.2	84.8
	20年以上	1,679	19.3	80.7
ライフ サイクル別	若者	170	11.8	88.2
	夫婦	225	15.1	84.9
	育児期	177	15.8	84.2
	教育期	276	16.3	83.7
	単身高齢者	191	16.2	83.8
	高齢者夫婦	461	26.2	73.8

問 27 前問で「知っている」を選んだ方に伺います。
 スマートシティの取組により生活は便利になると思いますか。
 (ひとつだけに○)

時刻表や運行経路がない予約型乗合バスである「AI オンデマンドバス」や利用者に必要な情報・サービスを最適にお届けする「my door OSAKA (マイド・ア・おおさか)」など、先進技術を活用し暮らしの質の向上をめざすスマートシティの取組を知っているかについて、「知っている」を選んだ方がスマートシティの取組により生活は便利になると思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が64.1%となっています。

性別×年代でみると、女性60歳代で“そう思う”の割合が71.4%と高くなっています。

居住年数別でみると、10～20年未満の層で“そう思う”の割合が79.1%と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、単身高齢者で“そう思う”の割合が80.0%と高くなっています。



問 28 あなたは、堺市 LINE 公式アカウントを登録していますか。(ひとつだけに○)

堺市 LINE 公式アカウントを登録しているかについては、「登録している」の割合が 23.9%、「登録していない」の割合が 76.1%となっています。

令和 5 年度調査と比べると、「登録している」の割合は 4.8 ポイント減少しています。

性別×年代で見ると、「登録している」の割合は、女性 40～60 歳代で高くなっている一方、男女とも 70 歳代以上では 1 割半ばと低くなっています。性別で「登録している」の割合を比べると、男性で 20.1%、女性で 26.9%と、女性の方が高くなっています。

居住年数別で見ると、「登録している」の割合は 5～10 年未満の層で 37.2%と高くなっています。



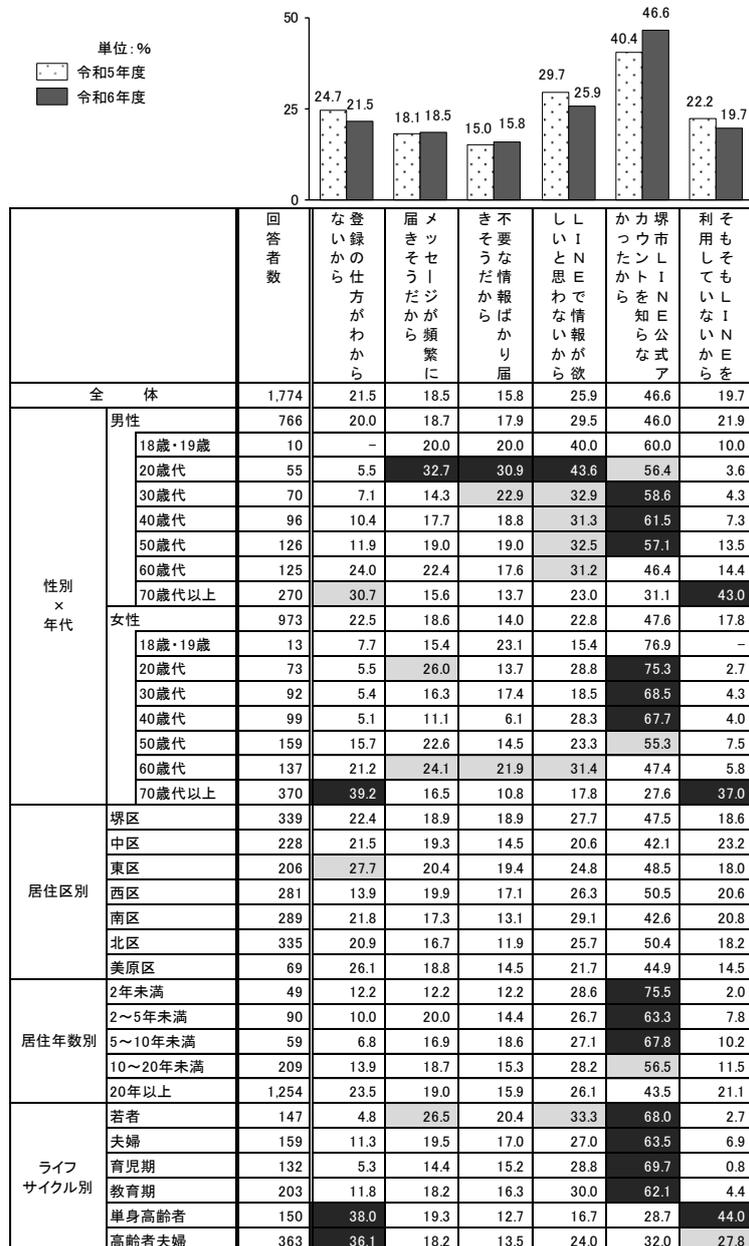
問 29 前問で「登録していない」を選んだ方に伺います。
 あなたが堺市 LINE 公式アカウントを登録していない理由をお選びください。
 (あてはまるものすべてに○)

堺市 LINE 公式アカウントを登録しているかについて、「登録していない」理由は、「堺市 LINE 公式アカウントを知らなかったから」の割合が 46.6%、「LINE で情報が欲しいと思わないから」の割合が 25.9%、「登録の仕方がわからないから」の割合が 21.5%となっています。

令和 5 年度調査と比べると、「堺市 LINE 公式アカウントを知らなかったから」の割合は 6.2 ポイント増加しています。

性別×年代でみると、男女とも 20～50 歳代で「堺市 LINE 公式アカウントを知らなかったから」の割合が 5 割以上と高くなっています。また、男女とも 70 歳代以上では「そもそも LINE を利用していないから」、女性 70 歳代以上では「登録の仕方がわからないから」の割合が全体より 10 ポイント以上高くなっています。

ライフサイクル別でみると、単身高齢者と高齢者夫婦で「登録の仕方がわからないから」「そもそも LINE を利用していないから」の割合が高くなっています。



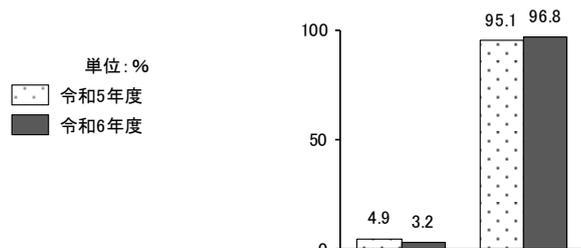
問 30 あなたは、堺市広報課 X（旧 Twitter）をフォローしていますか。
（ひとつだけに○）

堺市広報課 X（旧 Twitter）をフォローしているかについては、「フォローしている」の割合が 3.2%、「フォローしていない」の割合が 96.8%となっています。

令和 5 年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

居住年数別でみると、20 年以上の層で「フォローしている」の割合が 3.8%と、最も高くなっています。

ライフサイクル別でみると、「フォローしている」の割合は、高齢者夫婦で 4.6%と最も高くなっています。



		回答者数	フォローしている	フォローしていない
全 体		2,332	3.2	96.8
性別 × 年代	男性	957	3.8	96.2
	18歳・19歳	15	6.7	93.3
	20歳代	61	4.9	95.1
	30歳代	87	3.4	96.6
	40歳代	119	2.5	97.5
	50歳代	174	1.7	98.3
	60歳代	173	4.6	95.4
	70歳代以上	313	4.8	95.2
	女性	1,336	2.8	97.2
	18歳・19歳	14	-	100.0
	20歳代	85	3.5	96.5
	30歳代	125	4.8	95.2
	40歳代	169	1.8	98.2
	50歳代	258	1.6	98.4
60歳代	212	0.9	99.1	
70歳代以上	439	4.6	95.4	
居住区別	堺区	430	3.0	97.0
	中区	310	1.6	98.4
	東区	263	2.7	97.3
	西区	359	3.6	96.4
	南区	396	4.0	96.0
	北区	447	3.1	96.9
	美原区	100	7.0	93.0
居住年数別	2年未満	55	1.8	98.2
	2～5年未満	115	1.7	98.3
	5～10年未満	93	2.2	97.8
	10～20年未満	283	1.4	98.6
	20年以上	1,661	3.8	96.2
ライフ サイクル別	若者	169	3.6	96.4
	夫婦	225	3.1	96.9
	育児期	178	3.9	96.1
	教育期	277	2.2	97.8
	単身高齢者	184	3.3	96.7
	高齢者夫婦	452	4.6	95.4

問 31 前問で「フォローしていない」を選んだ方に伺います。
 あなたが堺市広報課 X (旧 Twitter) をフォローしていない理由をお選びください。
 (あてはまるものすべてに○)

堺市広報課 X (旧 Twitter) をフォローしているかについて、「フォローしていない」理由は、「そもそも X (旧 Twitter) を利用していないから」の割合が 50.1%、「堺市広報課 X (旧 Twitter) を知らなかったから」の割合が 29.5%、「フォローの仕方がわからないから」の割合が 20.6%となっています。

令和 5 年度調査と比べると、「堺市広報課 X (旧 Twitter) を知らなかったから」の割合が 3.1 ポイント増加し、「そもそも X (旧 Twitter) を利用していないから」の割合が 2.9 ポイント減少しています。

性別×年代で見ると、男女ともに 20 歳代で「堺市広報課 X (旧 Twitter) を知らなかったから」の割合が 5 割以上、30 歳代で 4 割以上、男女ともに 20 歳代で「X (旧 Twitter) で情報が欲しいと思わないから」の割合が 3 割以上、男女とも 70 歳代以上で「フォローの仕方がわからないから」の割合が 4 割前後と、それぞれ高くなっています。



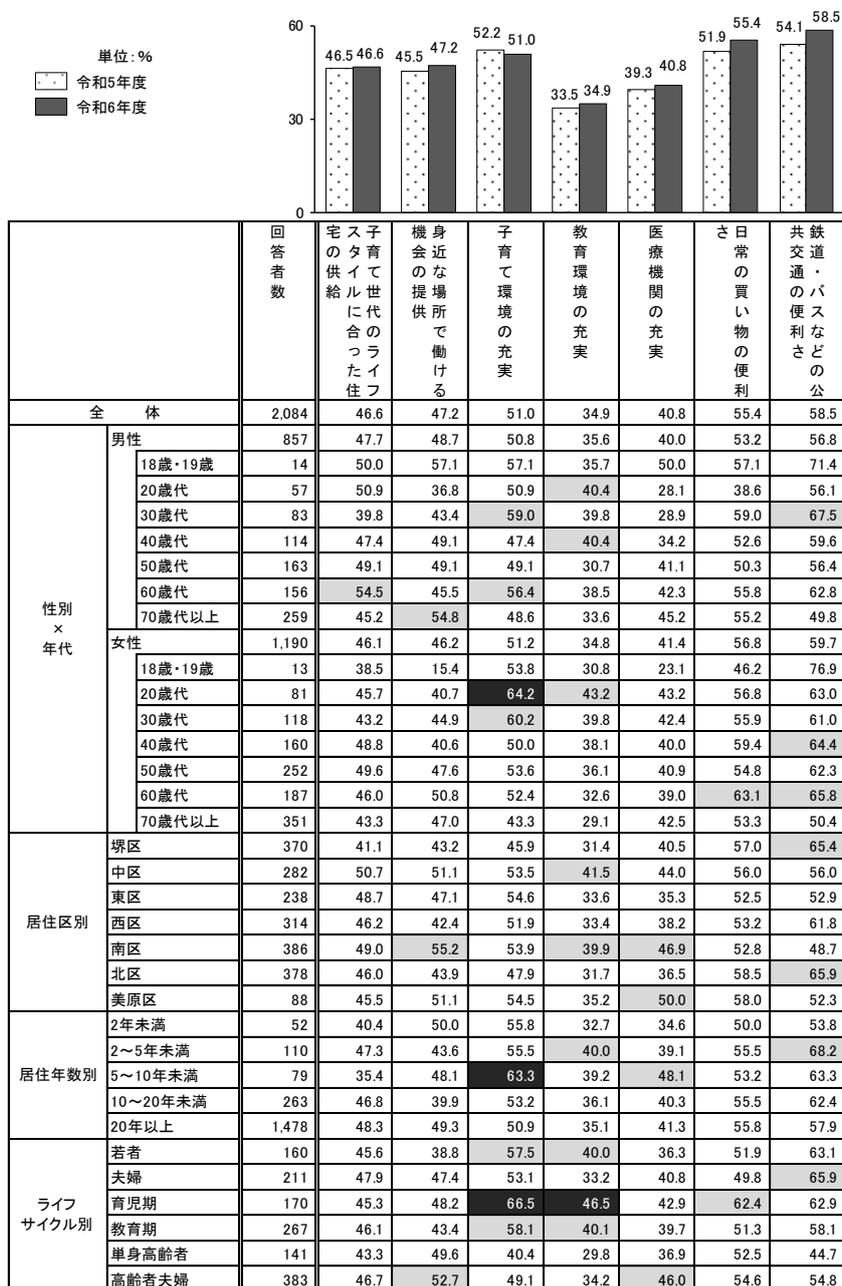
問 32 泉北ニュータウンにおいて、子育て世代の住民を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

泉北ニュータウンにおいて、子育て世代の住民を増やすためには、どのようなことが必要だと思うかについては、「鉄道・バスなどの公共交通の便利さ」の割合が 58.5%と最も高く、次いで「日常の買い物の便利さ」の割合が 55.4%、「子育て環境の充実」の割合が 51.0%となっています。

令和 5 年度調査と比べると、「鉄道・バスなどの公共交通の便利さ」が 4.4 ポイント、「日常の買い物の便利さ」が 3.5 ポイント増加しています。

性別×年代でみると、女性 20 歳代で「子育て環境の充実」の割合が全体より 10 ポイント以上高くなっています。

ライフサイクル別でみると、育児期では「子育て環境の充実」と「教育環境の充実」の割合が全体より 10 ポイント以上高くなっています。



D 転入、転出について

問1 堺市への転入や転出について、あてはまるものをお選びください。
(ひとつだけに○)

堺市への転入や転出については、「どれもあてはまらない（生まれてから堺市居住も含む）」の割合が37.2%と最も高く、次いで「希望してはいないが、事情により堺市に転入した」の割合が36.1%、「希望して堺市に転入した」の割合が22.6%となっています。

令和5年度調査と比べると、「希望してはいないが、事情により堺市に転入した」の割合が3.3ポイント増加しています。

居住年数別でみると、10年未満の層で「希望して堺市に転入した」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。

堺市居住前の居住地別でみると、泉州地域で「希望して堺市に転入した」の割合が37.8%と最も高くなっています。



※定住意向別

「定住意向あり層」はA問1で「そう思う」または「ある程度そう思う」と回答した人、「定住意向なし層」はA問1で「どちらともいえない」「あまりそう思わない」または「思わない」と回答した人です。

※住居形態別

「持ち家」は、E問7で「持ち家（一戸建て）」「持ち家（マンション）」と回答した人、「賃貸・社宅・寮」はE問7で「公的賃貸住宅」「民間賃貸住宅」「社宅・寮」と回答した人です。

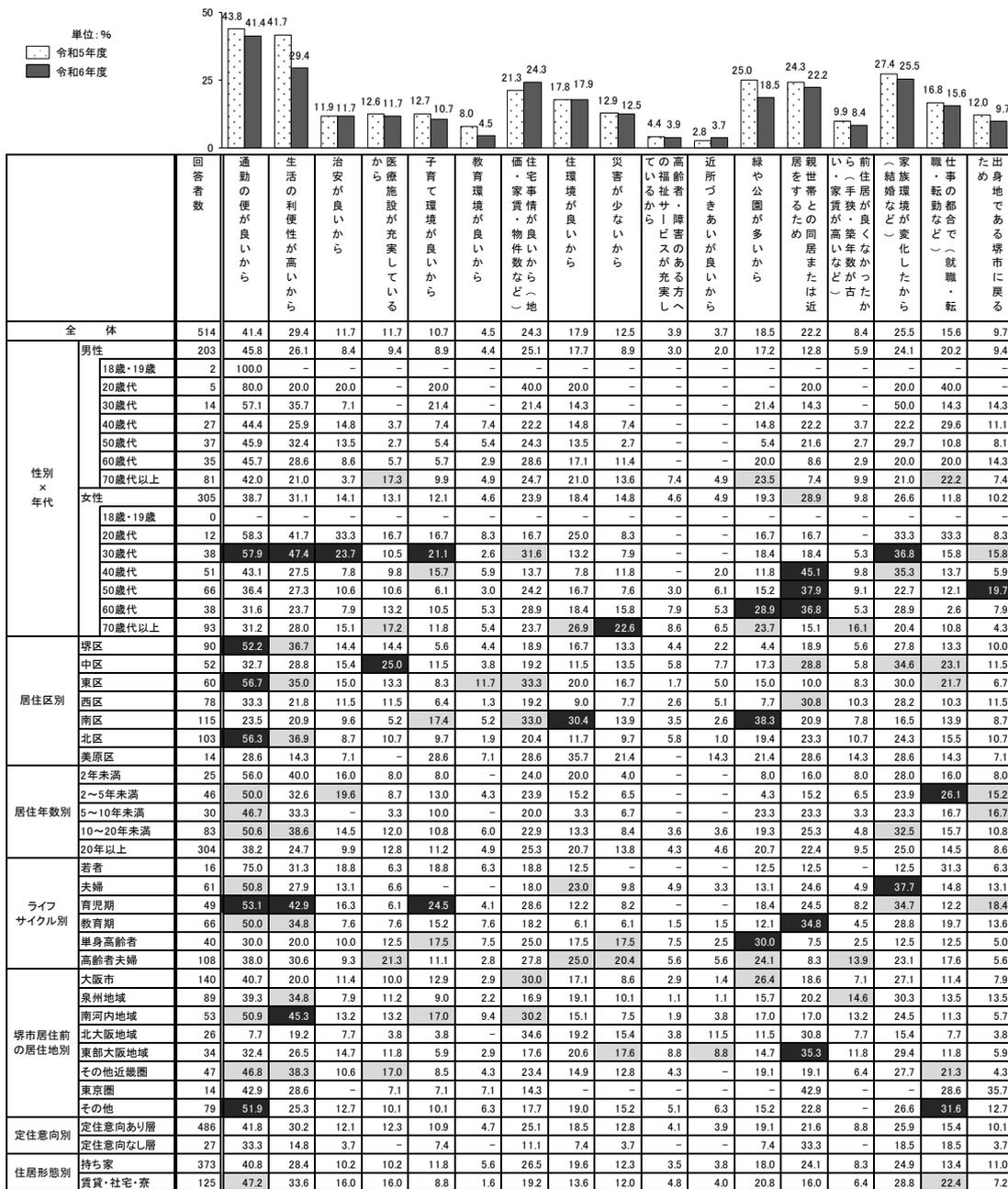
問2 問1で「希望して堺市に転入した」を選んだ方に伺います。
堺市内へ転入を希望したのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

堺市への転入や転出について、「希望して堺市に転入した」理由は、「通勤の便が良いから」の割合が41.4%と最も高く、次いで「生活の利便性が高いから」の割合が29.4%、「家族環境が変化したから(結婚など)」の割合が25.5%となっています。

令和5年度調査と比べると、「生活の利便性が高いから」の割合が12.3ポイント減少している一方、「住宅事情が良いから(地価・家賃・物件数など)」の割合が3.0ポイント増加しています。

居住区別でみると、堺区と東区、北区で「通勤の便が良いから」の割合が5割以上と高くなっています。また、中区では「医療施設が充実しているから」の割合、南区では「住環境が良いから」「緑や公園が多いから」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。

堺市居住前の居住地別でみると、南河内地域で「生活の利便性が高いから」、東部大阪地域で「親世帯との同居または近居をするため」、その他で「通勤の便が良いから」「仕事の都合で(就職・転職・転勤など)」の割合が、全体より10ポイント以上高くなっています。

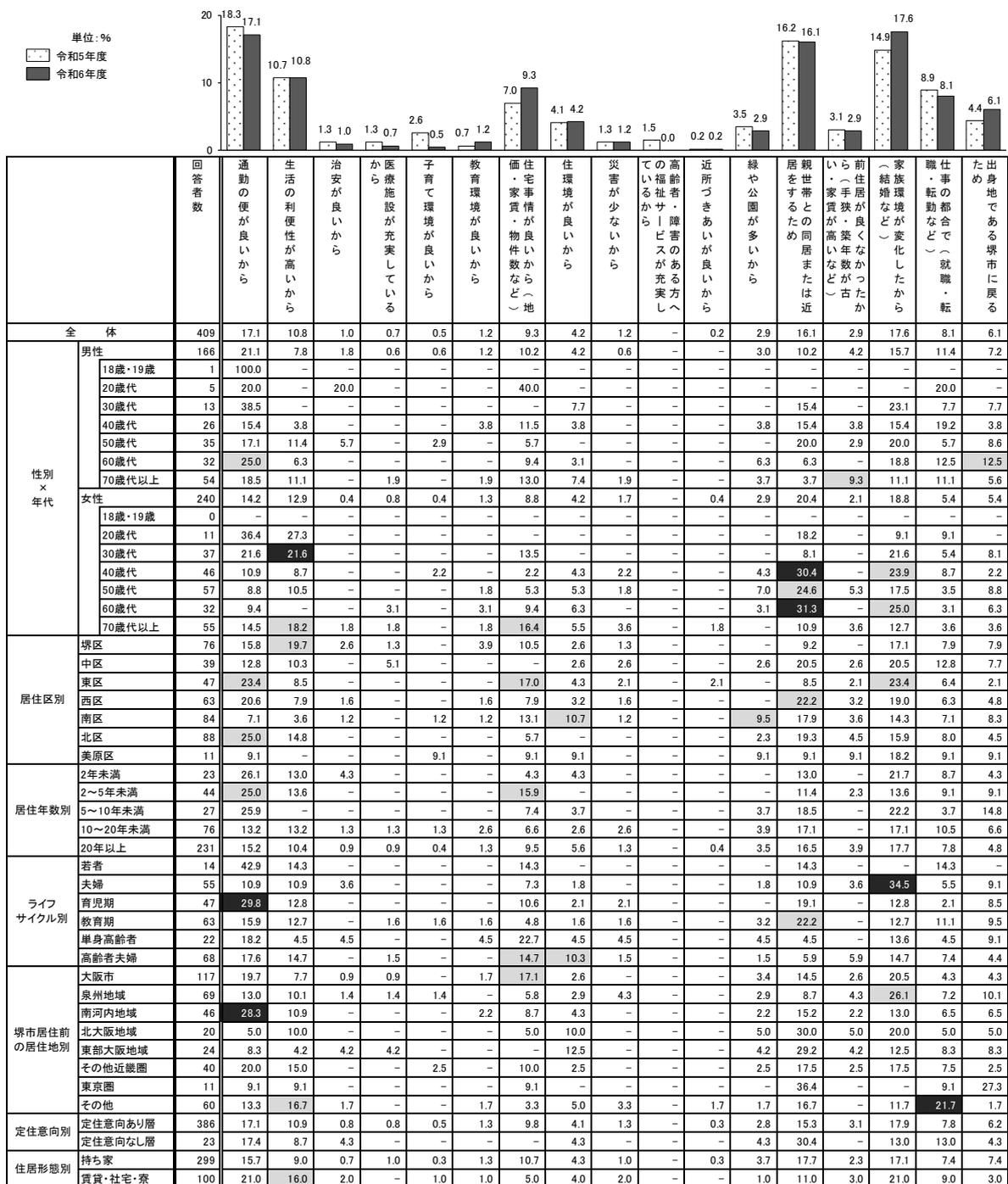


問3 前問でお答えいただいた堺市に転入を希望した理由の中で、最も大きな理由をひとつだけ選び、その番号をご記入ください。

堺市に転入を希望した最も大きな理由については、「家族環境が変化したから（結婚など）」の割合が17.6%と最も高く、次いで「通勤の便が良いから」の割合が17.1%、「親世帯との同居または近居をするため」の割合が16.1%となっています。

令和5年度調査と比べると、「家族環境が変化したから（結婚など）」の割合が2.7ポイント増加しています。

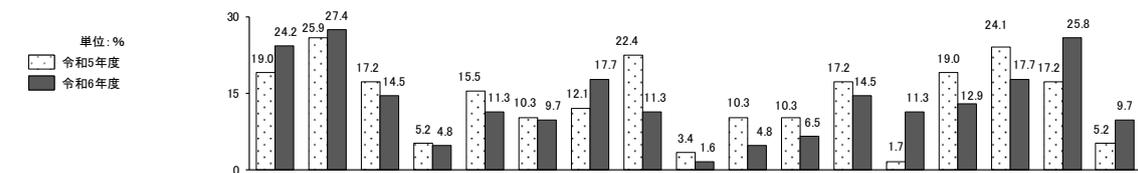
性別×年代でみると、女性30歳代で「生活の利便性が高いから」、女性40歳代と60歳代で「親世帯との同居または近居をするため」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。



問4 問1で「希望して堺市外へ転出の予定がある」または「今後できれば堺市外へ転出したい」を選んだ方に伺います。堺市外への転出を希望するのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

堺市外への転出を希望する理由は、「生活の利便性が低いから」の割合が27.4%と最も高く、次いで「仕事の都合で（就職・転職・転勤など）」の割合が25.8%、「通勤に不便だから」の割合が24.2%となっています。

令和5年度調査と比べると、「親世帯との同居または近居をするため」の割合が9.6ポイント、「仕事の都合で（就職・転職・転勤など）」の割合が8.6ポイント、「住宅事情が良くないから（地価・家賃・物件数など）」「通勤に不便だから」の割合が5ポイント以上増加しています。一方、「住環境が良くないから」の割合は11.1ポイント減少しています。

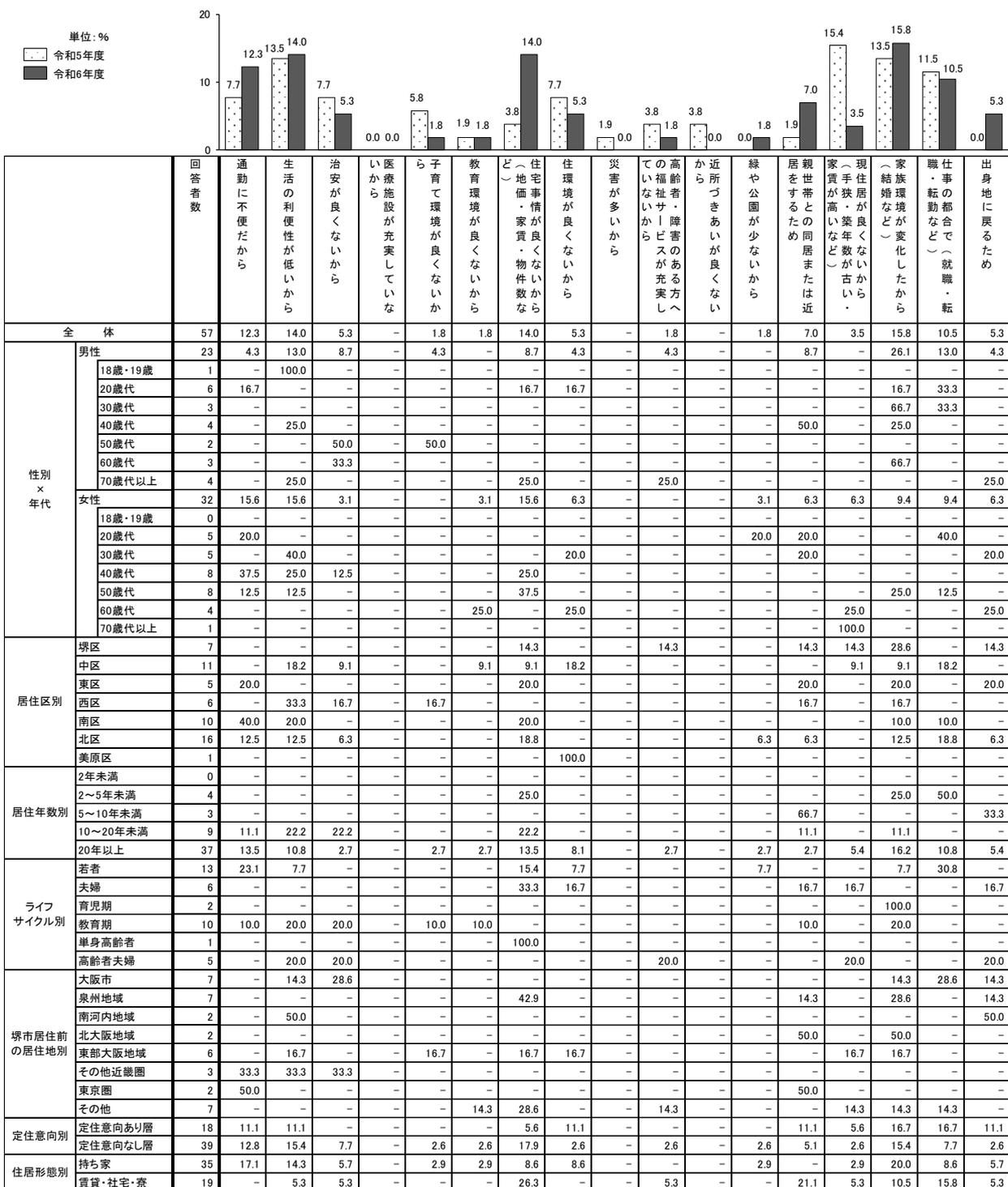


	回答者数	通勤に不便だから	生活の利便性が低いから	治安が良くないから	医療施設が充実していないから	子育て環境が良くないから	教育環境が良くないから	住宅事情が良くないから（地価・家賃・物件数など）	住環境が良くないから	災害が多いから	高齢者・障害のある方への福祉サービスが充実していないから	近所づきあいが良くないから	緑や公園が少ないから	居をすするため	親世帯との同居または近居をするため	家賃が高いなど	現住居が狭いから	家族環境が変化したから（結婚など）	職・転勤など	出身地に戻るため
全体	62	24.2	27.4	14.5	4.8	11.3	9.7	17.7	11.3	1.6	4.8	6.5	14.5	11.3	12.9	17.7	17.7	25.8	9.7	
性別 × 年代																				
男性	26	19.2	23.1	11.5	3.8	11.5	7.7	15.4	11.5	-	3.8	7.7	11.5	11.5	3.8	26.9	30.8	30.8	7.7	
18歳・19歳	2	50.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
20歳代	6	50.0	16.7	-	-	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	50.0	-
30歳代	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	66.7	33.3	33.3
40歳代	4	-	25.0	25.0	-	-	-	50.0	25.0	-	-	-	25.0	50.0	-	-	-	25.0	25.0	-
50歳代	2	-	50.0	50.0	-	100.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
60歳代	3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3	-
70歳代以上	4	-	25.0	-	25.0	-	-	25.0	25.0	-	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	25.0
女性	34	26.5	29.4	17.6	5.9	11.8	11.8	17.6	11.8	2.9	5.9	5.9	17.6	11.8	20.6	11.8	20.6	11.8	20.6	11.8
18歳・19歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	5	20.0	-	-	-	40.0	-	-	20.0	-	-	-	40.0	20.0	-	20.0	40.0	-	40.0	-
30歳代	5	20.0	60.0	20.0	-	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-	-	40.0	-	-	-	40.0	-
40歳代	8	50.0	62.5	25.0	12.5	-	25.0	25.0	12.5	-	-	-	12.5	25.0	12.5	25.0	-	-	-	-
50歳代	8	25.0	12.5	-	-	12.5	37.5	12.5	12.5	-	-	12.5	25.0	12.5	12.5	25.0	37.5	-	37.5	-
60歳代	4	-	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	50.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	50.0
70歳代以上	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
居住区別																				
堺区	8	-	-	37.5	25.0	-	-	37.5	25.0	12.5	25.0	25.0	25.0	12.5	37.5	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
中区	11	18.2	36.4	27.3	-	18.2	27.3	9.1	36.4	-	9.1	9.1	18.2	-	9.1	18.2	18.2	-	18.2	-
東区	6	16.7	33.3	-	-	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	16.7	33.3	-	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7
西区	6	-	33.3	16.7	-	16.7	16.7	-	-	-	-	16.7	-	16.7	-	16.7	-	16.7	-	16.7
南区	12	50.0	41.7	-	8.3	16.7	8.3	16.7	-	-	-	-	16.7	-	8.3	16.7	41.7	-	41.7	-
北区	17	23.5	23.5	11.8	-	5.9	-	23.5	-	-	-	-	11.8	17.6	17.6	11.8	11.8	29.4	11.8	11.8
美原区	1	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住年数別																				
2年未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2～5年未満	4	25.0	25.0	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0
5～10年未満	3	-	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	100.0	-	-	-	33.3	66.7	-
10～20年未満	12	33.3	33.3	25.0	-	16.7	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	8.3	25.0	-	25.0	-
20年以上	38	21.1	26.3	10.5	7.9	13.2	13.2	18.4	13.2	-	7.9	7.9	18.4	5.3	10.5	21.1	21.1	7.9	7.9	7.9
ライフサイクル別																				
若者	14	42.9	28.6	-	-	14.3	7.1	14.3	14.3	-	-	-	14.3	-	-	21.4	57.1	-	57.1	-
夫婦	6	16.7	16.7	50.0	16.7	16.7	-	50.0	16.7	-	16.7	16.7	-	16.7	50.0	-	16.7	33.3	33.3	-
育児期	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	100.0	-	50.0	50.0	-
教育期	10	20.0	50.0	20.0	-	40.0	40.0	-	-	-	10.0	10.0	20.0	10.0	-	20.0	-	-	-	-
単身高齢者	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	50.0	-	100.0	-	-	-	-	-
高齢者夫婦	5	-	20.0	20.0	20.0	-	-	20.0	20.0	-	20.0	-	-	-	20.0	-	-	-	20.0	-
堺市居住前の居住区別																				
大阪市	8	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5	37.5	12.5	12.5	-
泉州地域	7	-	-	-	-	-	-	28.6	-	-	-	14.3	14.3	42.9	28.6	28.6	14.3	42.9	14.3	42.9
南河内地域	2	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-
北大阪地域	3	-	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	-
東部大阪地域	6	66.7	33.3	16.7	-	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	33.3	-	-	33.3	16.7	16.7	-	16.7	-
その他近畿圏	3	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京圏	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-
その他	7	-	28.6	14.3	42.9	14.3	14.3	57.1	28.6	-	42.9	14.3	28.6	-	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
定住意向別																				
定住意向あり層	19	21.1	15.8	5.3	-	10.5	-	5.3	15.8	-	-	-	5.3	15.8	5.3	21.1	26.3	10.5	10.5	-
定住意向なし層	43	25.6	32.6	18.6	7.0	11.6	14.0	23.3	9.3	2.3	7.0	9.3	18.6	9.3	16.3	25.6	9.3	9.3	9.3	-
住居形態別																				
持ち家	37	32.4	32.4	13.5	5.4	13.5	16.2	10.8	13.5	-	5.4	8.1	18.9	-	2.7	24.3	27.0	8.1	8.1	-
賃貸・社宅・寮	21	9.5	14.3	19.0	4.8	9.5	-	28.6	9.5	4.8	4.8	4.8	4.8	33.3	28.6	9.5	23.8	14.3	14.3	-

問5 前問でお聞かせいただいた堺市外への転出を希望する理由の中で、最も大きな理由をひとつだけ選び、その番号をご記入ください。

堺市外への転出を希望する最も大きな理由については、「家族環境が変化したから（結婚など）」の割合が15.8%と最も高く、次いで「生活の利便性が低いから」と「住宅事情が良くないから（地価・家賃・物件数など）」の割合がともに14.0%となっています。

令和5年度調査と比べると、「住宅事情が良くないから（地価・家賃・物件数など）」の割合が10.2ポイント増加し、「現住居が良くないから（手狭・築年数が古い・家賃が高いなど）」の割合が11.9ポイント減少しています。



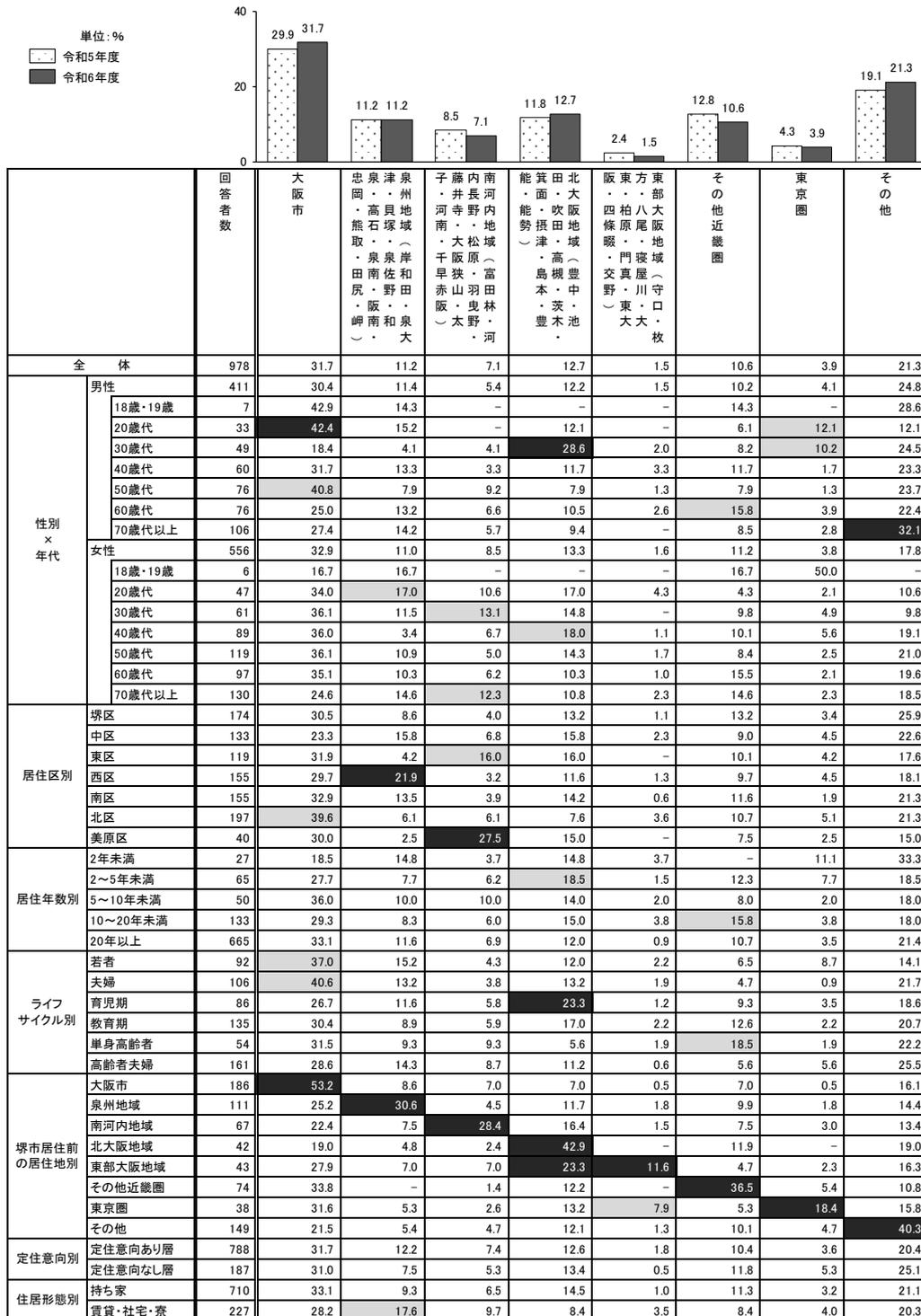
問6 転出の予定がある方は転出予定先をお聞かせください。転出の予定がない方は、もし堺市以外に住むとしたら、どこに住みたいと思いますか。(ひとつだけに○)

堺市以外に住むとしたら、どこに住みたいと思うかについては、「大阪市」の割合が31.7%と最も高くなっています。

令和5年度調査と比べると、「その他」の割合が2.2ポイント増加し、「その他近畿圏」の割合が2.2ポイント減少しています。

居住区別でみると、西区で「泉州地域」の割合が21.9%、美原区で「南河内地域」の割合が27.5%と高くなっています。

堺市居住前の居住地別にみると、以前住んでいた地域がそれぞれ高い傾向にあります。



Ⅲ 調査票

令和6年度 市民意識調査

あなたの日常生活における意識や行動について伺います。

A 堺市について

(例)	これからも堺市に住み続けたいですか。(ひとつだけに○)		
①	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問1	これからも堺市に住み続けたいですか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問2	堺市は魅力や愛着を感じる都市だと思いませんか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問3	堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境※が整っている都市だと思いませんか。 ※多様性を認め合う、差別のない平等な社会のこと (ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

B 安全・安心について（防災・防犯・子育て・健康・介護等）

問1	堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせる都市だと思いませんか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問2	地震等の災害発生に備え、ご家庭で1週間程度の飲料水（お茶、ジュースなどを含む）を備蓄していますか。 (ひとつだけに○) ※必要な備蓄量の目安：3リットル×7日分（1週間分）×世帯人数		
1	1週間分以上は備蓄している	3	備蓄していない
2	備蓄しているが、1週間分はない		

問 3	以下は、地震等の災害対策として、指定避難所である市内全ての小学校に設置している設備です。これらの設備の中で知っているものをお選びください。（あてはまるものすべてに○）		
1	マンホールトイレ（下水道に直接つないで流せる水洗トイレ）		
2	組立式簡易給水タンク（給水車からの飲料水を貯めておくための設備）		
3	災害時給水栓（地震に強い水道管からつながっている給水蛇口）		

問 4	堺市は治安に関する不安が少ない都市だと思いますか。（ひとつだけに○）		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 5	生活に身近な犯罪（子どもや女性をねらった性犯罪・特殊詐欺・車上ねらい等の自動車関連犯罪など）に対して、あなたやあなたの家族が日頃から気にしている、または取り組んでいる防犯対策は何ですか。（あてはまるものすべてに○）		
1	防犯アプリを活用する、防犯ブザーや防犯ホイッスルなどの防犯・護身用グッズを携帯するなどの対策をしている		
2	暗い夜道を避ける、1人での外出や歩行中のイヤホン使用を控えるなど警戒している		
3	不審な電話には、一旦電話を切って確認するなどしている		
4	車や自転車を離れる際はドアや鍵の施錠を行い、貴重品を置かないようにしている		

問 6	生活に身近な犯罪（子どもや女性をねらった性犯罪・特殊詐欺・車上ねらい等の自動車関連犯罪など）を減らすために、有効と考えるものはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）		
1	街頭防犯カメラ・防犯灯などの設置推進		
2	警察によるパトロール強化		
3	地域による子ども見守り・パトロール活動など自主防犯活動の充実		
4	行政や警察からの犯罪情報の積極的な発信		

問 7	堺市は子育てがしやすい都市だと思いますか。（ひとつだけに○）		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 8	前問で「3」「4」「5」を選んだ方に伺います。その選択肢を選んだ理由をお選びください。（あてはまるものすべてに○）		
1	子育て支援制度が充実していないから		
2	地域の子育てに関する理解や支援が不十分だから		
3	仕事と子育てを両立するための理解や支援が不十分だから		
4	公園、歩道など子どもを安心して育てられる環境の整備が不十分だから		
5	その他		

問 9	あなたがお住まいの地域は近所づきあいが良いと思いますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 10	健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。(ひとつだけに○)		
1	いる		
2	いない		

問 11	介護・子育て・就労・生活困窮・病気・メンタルヘルスなど生活や健康等の悩みがあるときの相談窓口を知っていますか。(ひとつだけに○) ※生活や健康等の相談窓口は、市役所などの行政機関のほか、NPO などの民間団体の相談窓口を含みます。また相談の形態（対面、電話、メール、SNS）を問いません。		
1	知っている		
2	知らない		

問 12	あなたはゲートキーパーについて知っていますか。(ひとつだけに○) ※ゲートキーパーとは、悩んでいる人や自殺の危険を示すサインを発している人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な相談窓口や支援につなげ、見守る人のことです。		
1	内容を知っている		
2	名称は聞いたことがある		
3	知らない		

問 13	堺市は、地域行事（まつり、清掃活動、交流イベント等）や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発な都市だと思いますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 14	高齢者や子どもの見守りなど、地域福祉活動に参加したことがありますか。(ひとつだけに○)		
1	ある		
2	ない		

問 15	前問で「2」を選んだ方に伺います。参加したことがない、最も大きな理由をお選びください。(ひとつだけに○)		
1	時間がないから	4	地域での活動そのものに興味がないから
2	大変そうだから	5	地域福祉活動において興味のある活動が行われていないから
3	普段から地域との関わりがないから	6	その他

問 16	定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の健康状態をチェックしていますか。(ひとつだけに○)		
1	している		
2	していない		

問 17	40歳～74歳の方に伺います。 あなたは特定健康診査を受診していますか。(ひとつだけに○) ※特定健康診査とは、生活習慣病の予防のため、40歳から74歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目し行う健診のことで、職場の健康診断や人間ドックを含みます。		
1	受診している		
2	受診していない		

問 18	前問で「2」を選んだ方に伺います。 受診していない、最も大きな理由をお選びください。(ひとつだけに○)		
1	面倒だから	4	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから
2	知らなかったから	5	健康状態に自信があり、必要性を感じないから
3	時間がとれなかったから	6	その他

問 19	医療や介護、健康について相談でき、必要ときには専門機関などを紹介してくれる、かかりつけの医師はいますか。(ひとつだけに○)		
1	いる		
2	いない		

問 20	前問で「2」を選んだ方に伺います。 かかりつけの医師がいない、最も大きな理由をお選びください。(ひとつだけに○)		
1	特に健康に問題はなく、医療機関にかかることがほとんどないから	4	かかりつけの医療機関を持つ必要性を感じないから
2	その都度、受診する医療機関を選んでいるから	5	医療費が経済的に負担になるから
3	どういった医療機関に行けばいいのかわからないから	6	その他

問 21	外出する頻度はどのくらいですか。※学校、仕事、買い物、飲食、隣近所等への外出を含む(ひとつだけに○)		
1	週5回以上	5	月に数回
2	週4回	6	年に数回
3	週2～3回	7	外出しない
4	週1回		

問 22	1日に30分以上の運動(日常の歩行や自転車を含む)やスポーツはどれくらい行っていますか。(ひとつだけに○)		
1	週3回以上	4	毎週ではないが月に数回
2	週2回	5	ほとんど行っていない
3	週1回		

問 23	前問で「5」を選んだ方に伺います。 ほとんど行っていない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)		
1	面倒だから	4	場所や施設がないから
2	時間がないから	5	病気やけがをしているから
3	仲間がないから		

問 24	各種講座への参加、個人で行う学習、教育機関で行う学習、趣味やボランティアを通じた学習などの生涯学習活動に取り組んでいますか。(ひとつだけに○)		
1	おおむね毎週取り組んでいる	3	あまり取り組んでいない
2	月に数回取り組んでいる	4	取り組んでいない

C 都市魅力について (文化・観光・産業・環境等)

問 1	堺市は街並みの美しさに満足できる都市だと思いますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 2	堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力がある都市だと思いますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 3	おおむね 1 年以内に、外国人と交流しましたか。※SNS などオンラインでの交流を含む (ひとつだけに○)		
1	した		
2	していない		

問 4	前問で「2」を選んだ方に伺います。 交流していない、最も大きな理由をお選びください。(ひとつだけに○)		
1	興味がなから	4	時間がないから
2	交流する機会がないから	5	文化や慣習を理解しあえないと思うから
3	言葉が通じないから	6	その他

問 5	堺市は歴史文化資源を身近に感じることができる都市だと思いますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 6	次のうち、堺の伝統産業であることを知っているものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)		
1	刃物	4	昆布加工
2	注染・和晒	5	敷物 (緞通)
3	線香	6	自転車

問 7	次の堺産品で購入したことがあるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)		
1	堺打刃物・堺刃物	4	昆布 (おぼろ昆布・とろろ昆布)
2	注染・和晒 (手ぬぐい・ゆかた)	5	和菓子
3	線香		

問 8	自転車を利用する方に伺います。 あなたがお住まいの地域の自転車の利用環境に満足していますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 9	前問で「3」「4」「5」を選んだ方に伺います。 あなたがお住まいの地域の自転車利用環境について、次の項目のうち、満足していないものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)		
1	自転車を楽しむ機会の充実度	4	駅前駐輪場の利便性
2	シェアサイクルの利用しやすさ	5	道路の走りやすさ
3	自転車利用者の交通ルールの順守度		

問 10	堺市は文化・芸術活動をしやすい都市だと思いますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 11	フェニーチェ堺 (堺市民芸術文化ホール) や文化会館、文化館 (堺 アルフォンス・ミュシャ館) を文化・芸術の活動や鑑賞等のために利用したことがありますか。(ひとつだけに○)		
1	週 1 回以上利用している	4	定期的な利用はないが、過去に利用したことがある
2	毎週ではないが、月に数回利用している	5	利用したことはない
3	毎月ではないが、年に数回利用している		

問 12	前問で「4」「5」を選んだ方に伺います。 その選択肢を選んだ理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)		
1	施設の存在を知らなかったから	4	申し込みが面倒だから
2	施設使用料、観覧料等が高いから	5	自宅から遠い等、施設が利用しづらい場所にあるから
3	興味のある公演や文化活動等がないから		

問 13	おおむね 6 か月以内に、通勤、通学以外の目的で都心エリアを訪れましたか。(ひとつだけに○) ※都心エリアとは、堺東駅から堺駅の周辺や阪堺線沿線を含むエリアであり、さかい利晶の杜や大浜公園などの施設や店舗なども含みます。		
1	訪れた		
2	訪れていない		

問 14	前問で「1」を選んだ方に伺います。 次のどのような目的で訪れましたか。(あてはまるものすべてに○)		
1	買物・食事	4	観光
2	娯楽・レジャー・催事	5	公共施設（市役所、保健センター、病院等）の利用
3	文化活動・習い事等		

問 15	問 13 で「1」を選んだ方に伺います。 都心エリアでの平均滞在時間は、どのくらいでしたか。(ひとつだけに○)		
1	1 時間以内	3	3 時間～5 時間程度
2	1 時間～2 時間程度	4	6 時間以上

問 16	現在、仕事をしておらず、就職活動もしていない方に伺います。 その理由はなぜですか。(あてはまるものすべてに○)		
1	病気やけがのため	4	育児や介護などで家を離れられないため
2	高齢のため	5	自分に合う仕事が見つからなかったため
3	配偶者の収入や蓄えなどで、仕事をしなくても生活ができるため	6	仕事をすることに不安があるため

問 17	堺市内で採れた食材を、選んで食べていますか。(おおむね 6 か月以内) (ひとつだけに○)		
1	おおむね毎週食べている	3	時々食べている
2	月に数回食べている	4	食べていない

問 18	前問で「3」「4」を選んだ方に伺います。 どうすれば、今よりも市内で採れた食材を食べようと思いますか。(あてはまるものすべてに○)		
1	もっと購入できる場所が増えれば	4	もっと安ければ
2	もっと「堺産」であることが分かりやすければ	5	もっと種類が豊富であれば
3	もっと他産地の食材と比べて違いや良さがわかれば		

問 19	あなたは「消費期限」と「賞味期限」の意味を知っていますか。(ひとつだけに○)		
1	どちらも知っている	3	「賞味期限」は知っているが、「消費期限」は知らない
2	「消費期限」は知っているが、「賞味期限」は知らない	4	知らない

問 20	あなたはどのような理由で「食品ロス」を発生させたことがありますか。(あてはまるものすべてに○) ※食品ロスとは、食べ残し、賞味期限切れ等の理由により食べられるのに捨てられている食品のことです。		
1	必要以上に買いすぎたから	3	食材を傷ませてしまったから
2	作りすぎて食べきれなかったから	4	飲食店等で注文し過ぎた。小盛りメニューがなかったから

問 21	ごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。(ひとつだけに○)		
1	積極的に取り組んでいる	3	あまり取り組んでいない
2	ごみの分別などルールを守っている	4	取り組んでいない

問 22	レジ袋有料化後、あなたがレジ袋を購入したのはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)		
1	マイバッグを忘れたから	4	レジ袋が安価で負担にならないから
2	マイバッグに入りきらなかったから	5	レジ袋を購入したことはない
3	マイバッグを持ち歩くのが面倒だから		

問 23	戸建て住宅の持ち家にお住まいの方に伺います。 あなたが住まいの住宅では、太陽光発電を導入していますか。(ひとつだけに○)		
1	導入している		
2	導入していない		

問 24	前問で「2」を選んだ方に伺います。 導入していない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)		
1	日照条件が悪い等の建物立地上の課題があるから		
2	耐荷重といった建物強度や屋根の漏水等の心配があるから		
3	太陽光発電の導入費用が高いから		
4	太陽光発電の導入について関心がないから		

問 25	あなたのお住まいの地域は緑豊かだと思いますか。(ひとつだけに○) ※緑とは森、農地、公園、街路樹などです。		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 26	時刻表や運行経路がない予約型乗合バスである「AI オンデマンドバス」や利用者に必要な情報・サービスを最適にお届けする「my door OSAKA (マイド・ア・おおさか)」など、先進技術を活用し暮らしの質の向上をめざすスマートシティの取組を知っていますか。(ひとつだけに○)		
1	知っている		
2	知らない		

問 27	前問で「1」を選んだ方に伺います。 スマートシティの取組により生活は便利になると思いますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 28	あなたは、堺市 LINE 公式アカウントを登録していますか。(ひとつだけに○)		
1	登録している		
2	登録していない		

問 29	前問で「2」を選んだ方に伺います。 あなたが堺市 LINE 公式アカウントを登録していない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)		
1	登録の仕方がわからないから	4	LINE で情報が欲しいと思わないから
2	メッセージが頻繁に届きそうだから	5	堺市 LINE 公式アカウントを知らなかったから
3	不要な情報ばかり届きそうだから	6	そもそも LINE を利用していないから

問 30	あなたは、堺市広報課 X (旧 Twitter) をフォローしていますか。(ひとつだけに○)		
1	フォローしている		
2	フォローしていない		

問 31	前問で「2」を選んだ方に伺います。 あなたが堺市広報課 X (旧 Twitter) をフォローしていない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)		
1	フォローの仕方がわからないから	4	X (旧 Twitter) で情報が欲しいと思わないから
2	発信の頻度が多いから	5	堺市広報課 X (旧 Twitter) を知らなかったから
3	発信内容に魅力を感じないから	6	そもそも X (旧 Twitter) を利用していないから

問 32	泉北ニュータウンにおいて、子育て世代の住民を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。 (あてはまるものすべてに○)		
1	子育て世代のライフスタイルに合った住宅の供給	5	医療機関の充実
2	身近な場所で働ける機会の提供	6	日常の買い物の便利さ
3	子育て環境の充実	7	鉄道・バスなどの公共交通の便利さ
4	教育環境の充実		

D 転入、転出について

問 1 堺市への転入や転出について、あてはまるものをお選びください。(ひとつだけに○)			
1	希望して堺市に転入した	4	希望してはいないが、事情により堺市外へ転出の予定がある
2	希望してはいないが、事情により堺市に転入した	5	今後できれば堺市外へ転出したい
3	希望して堺市外へ転出の予定がある	6	どれもあてはまらない(生まれてから堺市居住も含む)

問 2 問 1で「1」を選んだ方に伺います。 堺市内へ転入を希望したのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)			
1	通勤の便が良いから	10	高齢者・障害のある方への福祉サービスが充実しているから
2	生活の利便性が高いから	11	近所つきあいが良いから
3	治安が良いから	12	緑や公園が多いから
4	医療施設が充実しているから	13	親世帯との同居または近居をするため
5	子育て環境が良いから	14	前住居が良くなかったから(手狭・築年数が古い・家賃が高いなど)
6	教育環境が良いから	15	家族環境が変化したから(結婚など)
7	住宅事情が良いから(地価・家賃・物件数など)	16	仕事の都合で(就職・転職・転勤など)
8	住環境が良いから	17	出身地である堺市に戻るため
9	災害が少ないから		

問 3 前問でお答えいただいた堺市に転入を希望した理由の中で、最も大きな理由をひとつだけ選び、その番号をご記入ください。	

問 4 問 1で「3」または「5」を選んだ方に伺います。 堺市外への転出を希望するのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)			
1	通勤に不便だから	10	高齢者・障害のある方への福祉サービスが充実していないから
2	生活の利便性が低いから	11	近所つきあいが良くないから
3	治安が良くないから	12	緑や公園が少ないから
4	医療施設が充実していないから	13	親世帯との同居または近居をするため
5	子育て環境が良くないから	14	現住居が良くないから(手狭・築年数が古い・家賃が高いなど)
6	教育環境が良くないから	15	家族環境が変化したから(結婚など)
7	住宅事情が良くないから(地価・家賃・物件数など)	16	仕事の都合で(就職・転職・転勤など)
8	住環境が良くないから	17	出身地に戻るため
9	災害が多いから		

問 5 前問でお聞かせいただいた堺市外への転出を希望する理由の中で、最も大きな理由をひとつだけ選び、その番号をご記入ください。

--

問 6 転出の予定がある方は転出予定先をお聞かせください。転出の予定がない方は、もし堺市以外に住むとしたら、どこに住みたいと思いますか。(ひとつだけに○)

1	大阪市	5	東部大阪地域（守口・枚方・八尾・寝屋川・大東・柏原・門真・東大阪・四條畷・交野）
2	泉州地域（岸和田・泉大津・貝塚・泉佐野・和泉・高石・泉南・阪南・忠岡・熊取・田尻・岬）	6	その他近畿圏
3	南河内地域（富田林・河内長野・松原・羽曳野・藤井寺・大阪狭山・太子・河南・千早赤阪）	7	東京圏
4	北大阪地域（豊中・池田・吹田・高槻・茨木・箕面・摂津・島本・豊能・能勢）	8	その他

E あなたご自身のことについて

あなたご自身のことについて、あてはまるものをお選びください。

問 1 お住まいの区（ひとつだけに○）

1	堺区	5	南区
2	中区	6	北区
3	東区	7	美原区
4	西区		

問 2 性別（ひとつだけに○）

1	男性
2	女性
3	「1」「2」にあてはまらない

問 3 年齢（数字をご記入ください）

_____ 歳

問 4 同居している世帯の構成（ひとつだけに○）

1	単身世帯（ひとり暮らし）	4	三世代世帯（親と子と孫）
2	夫婦のみ	5	その他
3	二世代世帯（親と子）		

問 5 同居家族等（あてはまるものすべてに○）			
1	就学前（0～6歳）の家族がいる	5	75歳以上の家族がいる
2	小学生の家族がいる	6	1～5以外の家族がいる
3	中学生の家族がいる	7	同居していない家族（親、子、孫など3親等内の親族）が市内に住んでいる
4	65～74歳の家族がいる		

問 6 職業（ひとつだけに○）			
1	会社員・公務員（正規雇用）	6	農林漁業
2	派遣社員・契約社員・嘱託社員	7	その他就労 （「1」～「6」以外の形態で就労している）
3	アルバイト・パートタイマー（アルバイト等をしている学生を含む）	8	家事専業
4	会社等役員	9	無職（収入が年金のみの方、アルバイト等をしていない学生を含む）
5	自営業・自由業（自営業の手伝い・内職含む）		

問 7 お住まい（ひとつだけに○）			
1	持ち家（一戸建て）	4	民間賃貸住宅
2	持ち家（マンション）	5	社宅・寮
3	公的賃貸住宅	6	その他

問 8 堺市に何年住んでいますか。（数字をご記入ください）	
_____年（1年未満の方は「0」とご記入ください）	

問 9 堺市に住む前は、どちらに住んでいましたか。（ひとつだけに○）			
1	生まれてからずっと堺市に住んでいる	6	東部大阪地域（守口・枚方・八尾・寝屋川・大東・柏原・門真・東大阪・四條畷・交野）
2	大阪市	7	その他近畿圏
3	泉州地域（岸和田・泉大津・貝塚・泉佐野・和泉・高石・泉南・阪南・忠岡・熊取・田尻・岬）	8	東京圏
4	南河内地域（富田林・河内長野・松原・羽曳野・藤井寺・大阪狭山・太子・河南・千早赤阪）	9	その他
5	北大阪地域（豊中・池田・吹田・高槻・茨木・箕面・摂津・島本・豊能・能勢）		

お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。

【お願い】本調査票に回答を記載された場合は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて

令和 7 年 1 月 28 日（火） までに郵便ポストに投函をお願いします。

堺の魅力 発信中！

市政やイベントなど旬の情報のほか、災害情報をお届けします。

堺市LINE公式アカウントでは、欲しい情報を選んで受信できるセグメント配信も実施中。ぜひご登録ください！



堺市LINE公式アカウント

@sakai-city



堺市広報課X(旧ツイッター)

https://x.com/sakai_koho



堺市広報課フェイスブック

<https://www.facebook.com/koho.sakaicity/>



堺市公式インスタグラム

https://www.instagram.com/sakaicity_official/



堺動画チャンネル(YouTube)

▶堺の魅力や市長記者会見などの動画を発信

<https://www.youtube.com/user/sakaivideochannel>

堺市公式アカウントについてのお問い合わせ先

堺市広報課 〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

TEL: (072) 228-7402 (直通) / FAX: (072) 228-8101

**令和6年度
堺市市民意識調査報告書**

発行：令和7年3月

堺市 市長公室 政策企画部
〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号
TEL 072-228-7517 FAX 072-222-9694
HP <https://www.city.sakai.lg.jp>

堺市配架資料番号 1-C2-25-0062